

令和2(2020)年度

事業報告書



2021年3月に竣工した臨床研修医等宿舎「Resident Heim (レジデントハイム)」



誠のあゆみ、未来へつなぐ

目 次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 法人の沿革	2
3. 設置する学校	3
4. 入学定員数・収容定員数・現員数	3
5. 理事会・評議員会の開催状況	3
6. 役員等の概要	3
7. 諸規程の主な改正等	5
8. 主な事業の概要	7
9. 主な行事等	22
10. 土地の増減	24
11. 建物等の増減	24
12. 取得した主な機器備品等	25
13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等	26

II 人事の概要

1. 主な役職人事	28
2. 主な教職員人事	28
3. 教職員総数	28

III 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数	29
2. 学位授与者数	29
3. 文部科学省科学研究費助成事業	29
4. 厚生労働省科学研究費補助金	33
5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	34
6. その他公的機関受託研究等	35
7. 解剖体慰霊祭および解剖体数	36
8. 白寿会員数	36
9. 海外出張者数	36
10. 国家試験成績	36

IV 附属病院の概要

1. 患者数	37
2. 救急患者取扱件数	37
3. 分娩件数	37
4. アイバンク登録者数	37
5. 手術件数および死亡者数	37

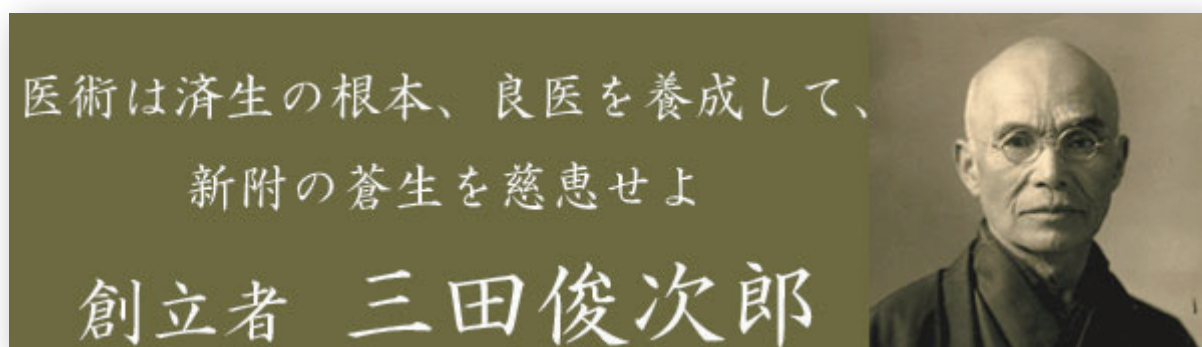
V 財務の概要

1. 事業活動収支	38
2. 資本収支	41
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	42
4. 令和2年度事業活動収支計算書	43
5. 令和2年度資金収支計算書	44
6. 貸借対照表	45
7. 医療収入内訳	46
8. 令和2年度事業活動収支構成比率	47
9. 令和2年度教育活動収支構成比率	48
10. 経年比較	49
11. 参考：学校法人会計の特徴について	56

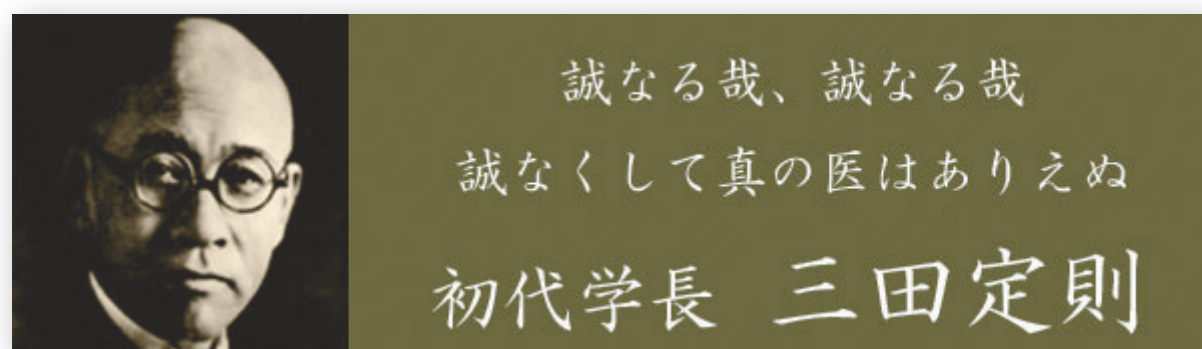
I 法人の概要

1. 建学の精神

本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出では力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。【岩手医科大学学則 第1章・第1条】



西欧化の荒波が押し寄せる中、明治新政府の医療施策は定まらず、岩手県では医療機関が長期に亘り途絶える等、県民の医療は困窮を極めていました。これを憂いた三田俊次郎は、私財を投じて私立岩手病院を設立、同時に医師、看護婦、産婆の養成に努めました。自らは勤儉力行に徹する一方、幾多の社会福祉事業、育英事業を興し、生涯を弱者救済と人材育成に捧げました。



俊次郎の限りない人類愛を受け継ぎ、岩手医学専門学校第2代校長となった定則は、戦後の学制改革に際し陣頭指揮を執って大学昇格を果たし、初代学長に就任しました。温厚にして飾らず、誰に対しても敬と愛をもって接した定則は「医師たらんとする者は先ず人間であらねばならぬ」を持論とし、人類の理想に「誠」を掲げました。

俊次郎と定則の精神は、私立学校法改正に伴う学校法人岩手医科大学への組織変更の際し、新制岩手医科大学学則に高らかに謳われ、今日まで脈々と受け継がれています。

2. 法人の沿革

明治30年	私立岩手病院開院 医学講習所・産婆看護婦養成所併設	平成19年	矢巾キャンパス第一次事業竣工 薬学部・共通教育センター開設
明治34年	私立岩手医学校設立認可	平成21年	附属病院に循環器医療センターを開設 (附属循環器医療センターを統合)
大正15年	岩手病院診療棟(現一号館)竣工	平成22年	超高磁場先端MRI研究所竣工 附属PET・リニアック先端医療センター開設
昭和3年	財団法人岩手医学専門学校設立認可	平成23年	矢巾キャンパス第二次事業竣工 医学部・歯学部基礎講座統合 共同研究部門を医歯薬総合研究所に改組 歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校を統合し、 岩手医科大学医療専門学校へ名称変更
昭和22年	財団法人岩手医科大学に組織変更	平成24年	附属病院ドクターヘリ基地ヘリポート竣工
昭和23年	医学部医学科開設	平成25年	大学院薬学研究科開設 災害時地域医療支援教育センター・ マルチメディア教育研究棟竣工
昭和26年	学校法人岩手医科大学に組織変更	平成26年	共通教育センターを全学教育推進機構に改組
昭和27年	新制岩手医科大学発足	平成28年	岩手看護短期大学開設 矢巾キャンパスにエネルギーセンター竣工 附属病院にPET・リニアック先端医療センターを開設 (附属PET・リニアック先端医療センターを統合)
昭和30年	医学進学課程設置	平成29年	看護学部開設
昭和35年	大学院医学研究科博士課程開設	平成30年	矢巾キャンパスにやはばなかよし保育園竣工
昭和40年	歯学部、教養部開設	平成31年	附属花巻温泉病院閉院
昭和41年	岩手歯科技工士学校開設	令和元年	矢巾キャンパスに新附属病院竣工 法人及び大学の本部を矢巾キャンパスに変更 矢巾キャンパスに附属病院を移転 内丸キャンパスに附属内丸メディカルセンターを開院
昭和42年	歯学部附属病院開院	令和2年	岩手看護短期大学閉学 岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科閉科
昭和47年	記念図書館竣工	令和3年	矢巾キャンパスにResident Heim(レジデントハイム)を竣工
昭和51年	岩手歯科技工士学校を 岩手歯科技工専門学校に名称変更		
昭和55年	岩手県と共同で岩手県高次救急センター開設 [現 岩手県高度救命救急センター]		
昭和58年	大学院歯学研究科博士課程開設		
平成2年	サイクロトロンセンター開設		
平成5年	附属花巻温泉病院開院		
平成6年	岩手医科大学附属病院に特定機能病院の承認		
平成9年	創立六十周年記念館竣工 附属循環器医療センター開院		
平成12年	超高磁場MRI研究施設竣工 木の花会館竣工		
平成16年	岩手医科大学歯科衛生専門学校開校 岩手歯科技工専門学校を 岩手医科大学歯科技工専門学校に名称変更 大学院医学研究科修士課程開設		
平成17年	附属病院に歯科医療センターを開設 (歯学部附属病院を統合)		

3. 設置する学校

- (1) 岩手医科大学
- | | | | |
|-----|-------|------|------|
| 大学院 | 医学研究科 | 医学部 | 医学科 |
| | 歯学研究科 | 歯学部 | 歯学科 |
| | 薬学研究科 | 薬学部 | 薬学科 |
| | | 看護学部 | 看護学科 |
- (2) 岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生専門課程（3年制）

4. 入学定員数・収容定員数・現員数（令和2年5月1日現在）

学 校	学部・学科等	入学定員数	収容定員数	現員数
①岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50 名	200 名	141 名
	修士課程	10 名	20 名	10 名
	大学院歯学研究科 博士課程	18 名	72 名	34 名
	大学院薬学研究科 博士課程	3 名	12 名	11 名
	修士課程	3 名	6 名	0 名
	医学部 医学科	126 名 編入学 4 名	766 名	806 名
	歯学部 歯学科	73 名	438 名	348 名
	薬学部 薬学科	120 名	840 名	528 名
	看護学部 看護学科	90 名 編入学 5 名	370 名	366 名
②岩手医科大学 医療専門学校	歯科衛生専門課程	40 名	120 名	99 名

5. 理事会・評議員会の開催状況

理事会は定例を 11 回、評議員会は定例を 2 回、臨時を 1 回開催しました。

6. 役員等の概要

- (1) 役員等の定員数、現員数、氏名等（令和3年3月31日現在）

①理 事

定員数：7人以上13人以内 現員数：11人

理事長 小 川 彰（常 勤）

理 事 祖父江 憲 治（常 勤） 酒 井 明 夫（常 勤） 三 浦 廣 行（常 勤）

三 田 ひろみ（非常勤） 三 田 義 之（非常勤） 高 橋 真 裕（非常勤）

佐々木 真 理（常 勤） 三 部 篤（常 勤） 嶋 森 好 子（常 勤）

小笠原 邦 昭（常 勤）

I 法人の概要

②監 事

定員数：2人以上3人以内 現員数：2人

小野寺 勲（非常勤） 池田 克典（非常勤）

③評議員

定員数：27人以上38人以内 現員数：29人

小川 彰	祖父江 憲治	後藤 康文	城 茂治
三浦 廣行	佐藤 洋一	斎藤 和好	河嶋 寛
佐々木 真理	小笠原 邦昭	三部 篤	松政 正俊
野田 守	佐塚 泰之	末安 民生	佐藤 悦子
高橋 真	高橋 真裕	三田 ひろみ	三田 義之
小林 誠一郎	酒井 明夫	高橋 耕	嶋森 好子
伊藤 忠一	菅野 耕毅	菊池 進	藤原 哲郎
二井 将光			

（2）役員等の異動

①理事長

（再任）小川 彰（令和3年2月24日付）

②理 事

（再任）祖父江 憲治（寄附行為第7条第1項第1号理事 令和2年4月1日付）

（再任）酒井 明夫（寄附行為第7条第1項第2号理事 令和3年2月23日付）

（再任、条項変更）三浦 廣行（寄附行為第7条第1項第2号理事 令和3年2月23日付）

（再任）三田 ひろみ（寄附行為第7条第1項第3号理事 令和3年2月23日付）

（再任）三田 義之（寄附行為第7条第1項第3号理事 令和3年2月23日付）

（再任）小川 彰（寄附行為第7条第1項第4号理事 令和3年2月23日付）

（再任）高橋 真裕（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年2月23日付）

（再任）佐々木 真理（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年2月23日付）

（再任）三部 篤（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年2月23日付）

（再任）嶋森 好子（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年2月23日付）

（再任）小笠原 邦昭（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年2月23日付）

（退任）小林 誠一郎（寄附行為第7条第1項第2号理事 令和3年2月22日付）

（退任）三部 篤（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年3月31日付）

（退任）嶋森 好子（寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年3月31日付）

③監 事

（再任）小野寺 勲（令和2年8月1日付）

（再任）池田 克典（令和2年8月1日付）

④評議員

（退任）城 茂治（寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年3月31日付）

（退任）佐藤 洋一（寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年3月31日付）

（退任）三部 篤（寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年3月31日付）

（退任）野田 守（寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年3月31日付）

- (退 任) 佐 塚 泰 之 (寄附行為第 19 条第 2 項第 4 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)
 (退 任) 末 安 民 生 (寄附行為第 19 条第 2 項第 4 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)
 (退 任) 小 林 誠一郎 (寄附行為第 19 条第 2 項第 5 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)
 (退 任) 伊 藤 忠 一 (寄附行為第 19 条第 2 項第 6 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)
 (退 任) 菅 野 耕 毅 (寄附行為第 19 条第 2 項第 6 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)
 (退 任) 藤 原 哲 郎 (寄附行為第 19 条第 2 項第 6 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)
 (退 任) 二 井 將 光 (寄附行為第 19 条第 2 項第 6 号評議員 令和 3 年 3 月 31 日付)

(3) 責任免除・責任限定契約の状況

私立学校法及び寄附行為に従い、令和 2 年 4 月 1 日から責任限定契約を締結している。

①対象役員の氏名

- ・非業務執行理事※：三田 ひろみ、三田 義之、高橋 真裕、小林 誠一郎
- ・監 事：小野寺 勲、池田 克典

※非業務執行理事とは、理事長、常務理事、業務を執行したその他の理事又は法人の職員でない理事をいう。

②契約内容の概要

当該役員がその任務を怠ったことにより学校法人に損害を与えた場合において、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、私立学校法施行規則第 3 条の 3 に定める方法により算定される額に 2 を乗じて得た額（責任限度額）を限度として損害賠償責任を負うものとしている。

③契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約において、当該役員がその職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに責任を限定することを明確にしている。

7. 諸規程の主な改正等

(1) 附属病院規程等の一部改正（令和2年4月27日改正、令和2年4月1日施行）

- ①附属病院にゲノム情報管理室を設置すること等の組織改正及び栄養部の管理体制強化による文言の整理を趣旨とする附属病院規程の一部改正
- ②附属内丸メディカルセンターに医療情報管理部を設置すること等の組織改正及び同センター運営会議を部門代表者会議へ変更することを趣旨とする附属内丸メディカルセンター規程の一部改正

(2) 組織規程の一部改正（令和2年4月27日改正、令和2年4月1日施行）

- ①医学部寄附講座の地域医療推進学講座（鹿角地域）を地域医療多職種連携推進学講座（鹿角地域）に名称変更することを趣旨とする一部改正
- ②就業規則の改正に伴い、事務局職員の職位名称等及び組織規程全般の事務局関連記載事項の整合性を図ることを趣旨とする一部改正

(3) 組織規程等の一部改正（令和2年5月25日改正）

- ①入学試験センターが大学院入学試験を所管すること及び研究科長の所掌事項を明確にすることを趣旨とする組織規程の一部改正（令和2年4月1日施行）

②医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野について、呼吸器疾患部門と腫瘍部門を呼吸器内科分野に、膠原病部門とアレルギー部門を膠原病・アレルギー内科分野に改編することを趣旨とする組織規程の一部改正（令和2年6月1日施行）

③②の組織規程改正に伴う教員定員の再設定を趣旨とする教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和2年6月1日施行）

（4）学則の一部改正（令和2年6月29日改正、令和3年4月1日施行）

薬学部の入学生定員を80名、収容定員を480名へ削減することを趣旨とする一部改正

（5）薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程等の一部改正（令和2年6月29日改正）

薬学部の入学生定員及び収容定員の削減に伴い、奨学金制度の見直しを行うことを趣旨とする薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程（令和2年7月1日施行）、薬学部学業奨励奨学金規程及び薬学部育英奨学金規程（令和3年4月1日施行）の一部改正

（6）組織規程等の一部改正（令和2年7月27日改正、令和2年8月1日施行）

医歯薬総合研究所に分子病態解析部門及びゲノム・オミックス解析支援センターを新設し、看護・政策研究部門及びサイクロロンセンターを廃止することを趣旨とする組織規程及び教育職員の定員に関する規程の一部改正

（7）職員就業規則の一部改正（令和2年12月21日改正、令和3年1月1日施行）

令和3年1月1日付の育児・介護休業法施行規則改正に伴い、子の看護休暇及び介護休暇の時間単位の取得、また勤怠管理システムによる特別休暇の承認申請手続を規定することを趣旨とする一部改正

（8）附属病院規程の一部改正（令和3年1月25日改正、令和3年2月1日施行）

附属病院中央診療部門の組織体制強化を図るために、各室とセンターに副室長又は副センター長の職を置き、また臨床工学部のスタッフ育成強化と業務調整に係る管理体制を構築するために、技師を統括する士長の職を置くことを趣旨とする一部改正

（9）組織規程等の一部改正（令和3年3月29日改正、令和3年4月1日施行）

①医学部リハビリテーション医学科をリハビリテーション医学講座へ改編することを趣旨とする組織規程の一部改正

②①の組織規程改正に伴うリハビリテーション医学講座の教員定員の増員並びに医学部臨床系講座及び歯学部臨床系講座の教員定員の見直しを趣旨とする教育職員の定員に関する規程の一部改正

（10）学則の一部改正（令和3年3月29日改正、令和3年4月1日施行）

医学部、歯学部、薬学部、看護学部における令和3年度の教育課程再編を趣旨とする一部改正

（11）職員就業規則等の一部改正（令和3年3月29日改正、令和3年4月1日施行）

①専門研修医への一元化による専攻医に係る文言を削除すること、職務限定職員の雇用に伴い当該職を追加すること、別表第4（職員の職）における栄養士を管理栄養士に改め、専門学校関係に主幹を追

加すること、また子の看護休暇の取得対象年齢を「12歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子」に拡大することを趣旨とする職員就業規則の一部改正

②仕事と子育ての両立に資するよう勤務環境の改善を図ることを趣旨とする職員の育児休業等に関する規程の一部改正

(12) 固定資産管理規程等の一部改正（令和3年3月29日改正、令和3年4月1日施行）

固定資産及び物品に係る管理責任者や基本的に重要な減価償却資産の明示、換金性の高い物品の管理や廃棄基準の明確化等、所要の整理を趣旨とする固定資産管理規程及び物品管理規程の一部改正

(13) 附属内丸メディカルセンター規程の一部改正（令和3年3月29日改正、令和3年4月1日施行）

附属内丸メディカルセンターにリプロダクションセンター、肥満症外科治療センター及び化学療法室を設置、医科診療科に血液腫瘍内科を追加、また、医療安全管理部及び感染制御部に常勤医の責任者を配置、各部、室及びセンターに副部長、副室長又は副センター長を配置することを趣旨とする一部改正

8. 主な事業の概要

(1) Vision 2020-2024 学校法人岩手医科大学中期計画の実施状況

本法人は、私立大学における経営環境が一層厳しさを増す中、安定的な運営を行い、使命を果たしていくため、2020年3月に「Vision 2020-2024 学校法人岩手医科大学中期計画」を策定しました。

計画の初年度に当たる2020年度は、10月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果については、機関会議等で確認の上、新型コロナウイルス感染症流行に伴う影響や財政状況等も踏まえて本計画の一部見直しを行い、2021年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。

【中間検証結果】

- ・基準日 2020年10月1日
- ・対象事業 中期計画に基づく2020年度実施予定事業（全116事業）

(ア) 計画どおり達成した 24事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
教育、研究関係	大学院医学研究科における教育課程の充実	ICTの充実
	医学部における教育の質の向上と学修成果達成に向けた医学教育の推進	社会の要請及びステークホルダーに応じた教育プログラムの策定
		教員の教育研究活動能力の向上
	薬学部への適正な入学定員の設定とその維持に必要な志願者の確保に向けた取り組み	2021年度入試に向けた入学定員の削減
		ホームページによる情報発信
	薬学部における教育の質向上と学修成果の判定方法の開発に向けた取り組み	クラス担任制度の強化
		卒業時、卒業後アンケートの実施

I 法人の概要

	教育設備（矢巾キャンパス施設の視聴覚機器）の更新	矢巾キャンパス施設の視聴覚機器
	教学 IR(Institutional Research) の推進	ファクトブックの継続的作成と公開
		学修支援アンケートの実施と解析、公表と学生へのフィードバック
		IR 活動に関する情報収集
	教育設備（マルチメディア教室ノートパソコン）の更新	マルチメディア教室ノートパソコンの更新（各年度 40 台）
	地域への情報発信	内丸図書館医療情報コーナーでの情報提供
		矢巾附属病院医療・防災情報スペースの整備（図書整備、パンフレットの更新）
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保	大学案内発行、受験生専用ホームページの管理運営
	学生の希望を叶えるためのキャリア支援体制の構築	就活支援ブック・広報用リーフレットの印刷等
		求人検索システムの運用
		満足度の高いオープンキャンパスの工夫
診療関係	医師の時間外労働規制に対する取り組み	産業保健の仕組みの活用（安全衛生委員会への報告、長時間勤務者との面談、診療科毎の対応協議）
		タスク・シフティング（業務移管）の推進（診断書代行作成、特定行為者の養成）
管理運営関係	情報システムの統合化	仮想サーバメモリ増設
	高品質・高信頼な情報ネットワークの運用	矢巾地区 A 敷地無線 LAN 整備
	情報セキュリティ強化	ペーパーレス用 iPad 追加購入
施設設備関係	建築物・建築設備維持運用にかかる修繕（矢巾キャンパス電気室の直流電源装置蓄電池設備更新）	矢巾キャンパス電気室の直流電源装置蓄電池設備更新修繕（厚生機械棟 3 階・4 階、東研究棟、東講義実習棟 3 階、体育館）

（イ）計画どおり達成する見通し 81 事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
創立 120 周年記念事業関係	内丸地区跡地活用計画の検討推進	内丸地区跡地活用計画の検討推進
	事業活動資金の確保に向けた募金活動の継続実施	広範にわたる募金活動の展開（継続的な募金パンフレットの作成、送付、ホームページの更新）
		顕彰活動の継続実施（表彰、記念品贈呈、寄付者銘板の作成）
教育、研究関係	大学院医学研究科における教育課程の充実	情報公開の充実及び 募集広報方式の改革
	医学部における教育の質の向上と学修成果達成に向けた医学教育の推進	医師国家試験対策
		学修支援体制の強化

大学院歯学研究科における学位論文の審査基準の設定及び学生への事前周知	学位論文審査基準の見直し
歯学部入学生の確保	教育課程の充実
	学生受け入れ方針の検証・改定
	広報活動の充実
	入試科目、入試方法の検証、検討
歯学部における教育研究組織の整備	計画的な教員の選考
	教員選考方針の検討
	組織編成、定員の見直し
薬学部の適正な入学定員の設定とその維持に必要な志願者の確保に向けた取り組み	広報活動による薬学の紹介
	高大連携の取り組みを実施
薬学部における教育の質向上と学修成果の判定方法の開発に向けた取り組み	教育的質の向上を目指した教員組織体制の見直し
	学習内容の見直し
	学修成果の判定
薬学研究科における4つのポリシーの見直しと教育課程の整備	薬学研究科の4つのポリシーの見直し
	学位授与に係る基準や規程の見直し
	薬学研究科の指導教員の研究・教育能力の向上
	学内の他研究科の学位取得を支援する取り組み
	薬学研究科修士課程の入学者確保対策
看護学部完成年度以降も学部を安定的・発展的に機能させていくための教育研究基盤の再構築	教育課程の抜本的な見直し
	看護学部の将来構想を踏まえた中長期的採用計画の策定と履行
	戦略的な国家試験対策の積極的な展開
全学的教育改革の支援活動	全学的教育改革の支援
	教員研修の積極的な実施
	e-ラーニングに関する検討・サーバ等資源整備検討
	多職種連携等の全学的な科目の検討
教学 IR(Institutional Research) の推進	アセスメントテストの実施と解析
	集約した情報のデータベース化及び分析・可視化ソフトの導入
初年次教育の強化	カリキュラムの見直し
実習等に係る機器等（教養教育センター）の年次更新	他科目等に関する機器等の整備
シミュレーション教育の充実	機器の新規購入・更新と維持管理
社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進	研究成果の社会還元支援（特許等知的財産権利化・維持支援、研究成果の公開と連携模索支援）
	教育研究の高度化に対応した教職員及び学生に対する啓発（知的財産、研究活動におけるリスクマネジメント）
	地場産業クラスターや産学連携推進協議会等の集積拠点への参画による研究開発の促進

I 法人の概要

		競争的資金（産学連携関係）への組織的な斡旋と申請内容の多角的視点からのブラッシュアップ等獲得支援
	古書の整備	貴重書の表紙の破損修復
	地域への情報発信	図書館連携による医療・健康情報企画展示
	学修及び教育研究環境の整備を目的とした蔵書構築プランの策定	蔵書構築プランの策定 蔵書構築マニュアルの作成
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保	入試制度改革の推進 学生募集に係る広報活動（広告掲載、進学相談会、進学情報サイト掲載） オープンキャンパスの開催
	学生支援体制の推進	キャンパスライフガイドの作成 学生支援方針・指針の見直し 学生との意見交換
	学生の希望を叶えるためのキャリア支援体制の構築	企業研究セミナー（学内合同企業説明会） キャリア支援講演会・ガイダンスの開催
	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	入学定員充足率向上を目指した広報活動の展開 国家試験合格を見据えた学習支援の強化
補助事業及び委託事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備	文部科学省補助金を活用した高額機器の整備 研究施設の利用者数増加のためのサービス内容の周知
	健康安全・危機管理対策総合研究事業（厚生労働行政推進調査事業費補助金）	岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究（平成 25 年度～令和 2 年度）
	災害対応医療人の育成	いわての師匠事業
	東北メディカル・メガバンク計画	東北メディカル・メガバンク計画
	岩手県ドクターヘリ運航事業	岩手県ドクターヘリ運航事業
	岩手県こころのケアセンター事業	岩手県こころのケアセンター事業
	いわてこどもケアセンター運営事業	いわてこどものケアセンター運営事業
診療関係	病院運用の効率化に向けた取り組みの推進	外来運用の効率化に向けた取り組み 病棟運用の効率化に向けた取り組み 病院医療情報システム整備 医療経費削減に向けた取り組み
		医師の労働時間管理の適正化に向けた取り組み（医師の労働時間把握、相談受付体制の整備）
		36 協定等の自己点検（36 協定の見直しと締結）
		医師の労働時間短縮に向けたその他の具体的な取り組み（医師への研修の実施、主治医制の見直し、委員会・会議の見直し）
	医師の時間外労働規制に対する取り組み	医師の労働時間管理の適正化に向けた取り組み（医師の労働時間把握、相談受付体制の整備）
		36 協定等の自己点検（36 協定の見直しと締結）
管理運営関係	ガバナンスの向上等による運営基盤の強化	①ガバナンス・コードに基づく法人運営の推進 ②中期計画及び事業計画の実行と進捗・達成状況等の管理
	勤怠管理システムの導入	勤怠管理システムの導入について

	附属病院移転に係る借入金の返済と借入金利息の支払い	借入金利息の支払い（2034年6月まで）
	資金計画のための財務分析	資金計画のための財務分析
	資金運用方針の策定と資金運用の実施	資金運用方針の策定
	本法人保有資産の有効活用について	不動産の有効活用に向けた検討
		物品（機器・備品等）の有効活用に向けた体制整備
	大学運営の適切性についての点検・評価及びその結果に基づく改善・向上に向けた監査の実施	標準的な内部監査手続きの徹底
		法人運営の効率化に資する内部監査の実施
		内部監査に関する基本的事項の周知・有効性に関する啓発
施設設備関係	建築物・建築設備維持運用にかかる修繕（矢巾キャンパス外壁、熱源修繕）	矢巾キャンパス第一次事業校舎の外壁調査及び修繕計画立案
	建築物・建築設備維持運用にかかる修繕（内丸メディカルセンター入院棟屋上防水、自動火災報知設備等修繕）	屋上防水修繕・2021年度修繕計画作成
	臨床研修医等宿舎の整備	臨床研修医等宿舎の整備

(ウ) 計画どおり達成する見通しが立たない 11 事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
創立 120 周年 記念事業関係	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進	歯学部解体実施計画検討・内丸メディカルセンター新棟建設の基本構想検討
教育、 研究関係	薬学部の適正な入学定員の設定とその維持に必要な志願者の確保に向けた取り組み	志願者及び入学者の増加を目指した学納金、奨学金制度の制定
	初年次教育の強化	学生支援や学修支援制度の見直し
		入学前教育
補助事業及び 委託事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備	研究施設スタッフのスキルアップ
	災害対応医療人の育成	日本災害医療ロジスティクス研修
		災害時実践力強化事業
施設設備関係	建築物・建築設備維持運用にかかる修繕（内丸キャンパス 1 号館車寄せ修繕）	内丸キャンパス 1 号館車寄せ修繕
	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事
	図書館防災対策	傾斜スライド棚取付

I 法人の概要

【一部変更等を行った計画】

(ア) 変更 16 計画

区分	中期計画タイトル
創立 120 周年記念事業関係	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進
教育、研究関係	大学院医学研究科における教育課程の充実
	医学部における教育の質の向上と学修成果達成に向けた医学教育の推進
	薬学部への適正な入学定員の設定とその維持に必要な志願者の確保に向けた取り組み
	全学的教育改革の支援活動
	実習等に係る機器等（教養教育センター）の年次更新
	教育設備（マルチメディア教室ノートパソコン）の更新
	教育設備（矢巾キャンパス施設の視聴覚機器）の更新
	古書の整備
補助事業及び委託事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備
	高品質・高信頼な情報ネットワークの運用
	情報セキュリティ強化
施設設備関係	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（矢巾キャンパス）
	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（内丸キャンパス）
	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事
	図書館防災対策

(イ) 追加 2 計画

区分	中期計画タイトル
診療関係	内丸メディカルセンター病院機能評価受審に向けての整備
施設設備関係	内丸メディカルセンター施設等整備計画

(ウ) 中止 2 計画

区分	中期計画タイトル
管理運営関係	資金運用方針の策定と資金運用の実施
施設設備関係	建築物・建築設備維持運用にかかる修繕（内丸キャンパス 1 号館車寄せ修繕）

(2) 2020 年度事業計画の実施状況

(ア) 創立 120 周年記念事業関係

事業計画	2020 年度の実施状況
① 内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進	現在の内丸メディカルセンターの施設は築後 50 年を経過した建物が多く、老朽化が著しいことから、新棟建設に向けた計画を推進する必要がある中、新型コロナウイルスの影響による大学財政の悪化、内丸メディカルセンター入院棟 7 階病棟の利用等、計画を進める中で先を見通すことが困難な状況になったことから、矢巾と内丸の病院機能のあり方の検討と併せ、財政状況等の検証及び計画検討期間を設けることとし、情勢を注視しながら進めることとしました。
② 内丸地区跡地活用計画の検討の推進	内丸地区跡地活用の検討に当たり、今年度は、事務局にて若手事務職員等を対象とした研修会を開催、若手事務職員による内丸地区再整備計画検討WGを設置し、内丸地区再整備計画への提言をとりまとめました。今後、岩手県、盛岡市、盛岡商工会議所及び本学の事務局による四者事務連絡会議にて提言を発表し、当該計画の推進を図ってまいります。
③ 事業活動資金の確保に向けた募金活動の継続実施	【学術振興資金募金】 ・募集活動：新型コロナウイルス感染症が流行する中、教育・研究・診療活動の経常的資金を確保するため、募金ホームページの整備や募金パンフレットの送付等を通じて支援の拡大を図りました。 ・顕彰活動：WEB 芳名録と岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰を行いました。 【創立 120 周年記念事業募金】 ・募集活動：学術振興資金募金の推進に伴い、当初計画した募金パンフレットの送付は見合わせましたが、募金ホームページを通じて募集活動を継続しました。 ・顕彰活動：顕彰規程に基づき、称号授与並びに記念品及び感謝状の贈呈を行った他、寄付者銘板、WEB 芳名録及び岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰を行いました。

(イ) 教育・研究関係

事業計画	2020 年度の実施状況
① 大学院医学研究科教育課程における ICT の充実	2020 年度に耐用年数を迎えた講義収録システムを更新しました。同システムは、新型コロナウイルス感染症が流行する中、有効な講義スタイルとなっており、今後も社会的ニーズに応じていく必要があることから、利便性を損なわないように適切な配信管理を行っていくこととしています。
② 大学院医学研究科における情報公開の充実及び募集広報方式の改革	大学院志願者増加を図るため、学生にわかりやすいカリキュラムや専攻・分野となるように、再編成を行った上で広報用の大学院ガイドを作成しました。今後も本学大学院の優位性を周知するため、引き続き大学ホームページの充実等を行っていく予定です。

③	医学部における学修支援体制の強化による医師国家試験合格率の向上	医師国家試験合格率の向上及び原級・卒業留置者の減少に向けた対策として、第3～6学年の留置者と成績低迷者には、教務委員会・学修支援委員会が中心となり、基礎知識の向上、自己学修態度の定着、モチベーションの維持・向上を目的とした少人数双方向性学修支援プログラムを実施し、更に予備校プログラムを交えて学修効果の更なる向上を図り、国家試験対策と成績低迷者対策を強化しました。 共用試験 CBT については、第2～4学年における戦略的な学修支援プログラムを継続して実施しました。また、低学年からの生活習慣の適正化と自己学修習慣の習得のため、担任・教務委員会・学生部が連携して、第1～3学年に対する多角的な指導と支援を行いました。
④	大学院歯学研究科における学位論文の審査基準の設定及び学生への事前周知（早期課程修了を含む）	「学位論文の手引き」に記載されている内容の見直しを継続して行いました。また、学位取得を念頭に置いた研究の推進を図るため「学位論文審査の手引き」及び学位論文審査に至るまでの過程を教育要項に掲載しました。併せて、初期審査から中期審査の評価項目についても検討し、研究の進捗状況を定期的に審査することで学位取得を支援しています。
⑤	歯学部教育課程の充実	担当チューターによる学生個々の学習管理や個別指導を引き続き行いました。低学年では、歯学教育支援システムによる演習や事前課題を課した上で、総合試験形式の試験を取り入れて知識の確認を行い、個別にフィードバックすることで知識の定着を図るシステムの構築を進めました。また、高学年では、第6学年において弱点分野克服のための補講や基礎と臨床で関連する分野の知識統合を目的とした特別講義等を実施した他、第5学年の学生に第6学年の総合試験を同時受験させ、次年度の国家試験を念頭に置いた学習を促しました。併せて、指導教員の教育力の更なる向上を目指し、年3回の教育研修会を実施しました。
⑥	薬学部の適正な入学定員の設定と教育の質の向上等に向けた取り組み	地域医療に貢献する薬剤師の育成を目標に、学生一人ひとりに対しての手厚い教育と、多職種と連携した堅実な医療人としての成長を促すため、教育の質向上、学生の成長及び学修成果を判定する適切な方法の構築等について、前年度に引き続き取り組みました。また、適正な入学定員の設定、入学定員の充足を図るべく高校訪問やホームページのコンテンツ充実等、広報活動や社会への薬学及び薬剤師の魅力についての啓発活動、卒業時及び卒業後のアンケート調査の実施と解析を行い、学生対応や効果的な教育体制の見直しに取り組む等、薬学部の改革を推し進めました。なお、第106回薬剤師国家試験合格率は、新卒、既卒ともに昨年度を上回る結果となったことから、引き続き成績中位から下位層に対する手厚い教育と、学修支援を積極的に進めていきます。
⑦	看護学部設置から4年間の検証と完成年度以降の教育研究組織体制の構築	看護学部は2020年度に完成年度を迎え、集大成となる今年度も文部科学省に申請した設置計画を着実に履行しました。これまでの4年間の検証については、2021年度も継続して行います。また、完成年度を機に、教員組織や教育課程の再編等、大きな変革の時期を迎えることから、教育研究活動の更なる活性化及び教育研究水準の維持向上を図るべく、教職員が一丸となって取り組み、2021年度以降も安定的・発展的に運営するための基盤を構築しました。 この他、看護学部として初めての保健師・助産師・看護師国家試験にあたり、高位合格率を目指して戦略的な対策を積極的に展開しました。

⑧	全学的教育改革の検討と支援	全学的教育改革の一環として、推奨導入したティーチング・ポートフォリオについて、提出された一部を教員 FD で活用し授業改善の新たな取組を開始しました。また、遠隔・分散授業に対応すべく、LMS（学習管理システム）増強の他、教育環境の改善を図りました。
⑨	教学 IR (Institutional Research) の充実	事業計画に基づき次のとおり取り組みました。 ・教学データの可視化としてファクトブックの継続的作成と公開を行いました。 ・学生の学修時間・学修実態、学修成果及び大学への満足度等を調査するために学修支援アンケートを実施しました。 ・ディプロマポリシーの達成度の可視化、教育成果の可視化を実施するために、外部アセスメントテストを試験的に導入し、今後の活用について検討しました。 ・IR 活動に必要なデータの収集等を進めるとともに、IR に関するセミナーや研修会等へ参加しました。
⑩	教養教育、準備教育に係る教育見直しと高大連携の改善	入学前教育から専門教育への橋渡し教育まで、時代の変化に対応した教育への改善を図る一環として、岩手県高等学校校長協会との協定に基づき協議会を開催し、双方の課題を含め情報共有等を行いました。また、時代の変化に対応するため、選択科目について見直しを検討しました。
⑪	シミュレーション教育環境の整備	学生及び医療従事者に対する医療技術の教育や研修の場として、シミュレーション教育の充実を図る目的で 2019 年度にシミュレーションセンターを設置しました。2020 年度は看護部のシミュレーション教育研修において、シミュレーターの管理を含め、研修会のフォローをしました。また、医療シミュレーション教育推進ワーキンググループを発足し、医療シミュレーション教育の推進のための環境改善や情報提供・研修の企画等を検討しました。
⑫	実習関連機器等（教養教育センター）の年次整備	矢巾キャンパス開設時に整備した教養教育センターの実習関連機器について、経年劣化による支障や環境変化に伴う必要台数等を検討の上、計画的更新・整備を行いました。
⑬	マルチメディア教育ノートパソコンの更新（5 か年計画 中 4 年目）	CBT 試験、情報教育等で使用するノートパソコンについて、年次計画により 40 台を更新しました。また、今後の学生見込み数を勘案し必要更新台数を削減し、5 か年計画を 4 か年に変更、4 年目となる 2020 年度の更新により、更新完了としました。
⑭	矢巾キャンパス施設の視聴覚機器の計画的更新（5 か年計画 2 年目）	矢巾キャンパス施設の講義室等に設置している視聴覚機器（プロジェクタ、マイク設備、実習用ディスプレイ）は、設置から 9～12 年以上経過し、部品の生産終了等により修理対応ができないことから、5 か年計画に基づき 2020 年度は、プロジェクタ 11 式、マイク・チューナー設備等 4 式を更新しました。
⑮	入試制度改革の推進と戦略的な学生募集活動	新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりの中で広報活動も見直しを迫られる事態となり、夏のオープンキャンパスは WEB 上での開催とし、受験生専用サイトや各種メディアを利用した広報活動を実施しました。 コロナ禍の終息が見えないまま入学試験が始まりましたが、アドミッションポリシーに基づき公平・公正さを担保しつつ、医学部二次試験（面接）では感染症対策として WEB 上でのシステムを用いたリモート面接を導入する等、柔軟な対応を行いました。高大接続改革対応は継続的に検討を進めていきます。

⑫	古書・貴重書の修復・保管	革装丁の貴重書について、表紙が破損していたもののうち 17 冊の修復を完了しました。
⑬	地域への情報発信	岩手県内図書館連携企画展示として、9 月に「こころが軽くなる認知症との付き合い方」(16 館)、2 月に「たいせつな人を守る アレルギーの基礎知識」(15 館)を実施し、矢巾図書館、内丸図書館医療情報コーナーでも展示しました。 附属病院医療・防災情報スペースは、新型コロナウイルス感染防止対策として閉鎖しています。
		 9 月の企画展示
⑭	蔵書構築プランの策定	長期的な蔵書構築プラン策定の参考とするため、医学系図書館に必要な図書選定に関する基準や他館の収書方針等の情報収集を行いました。また、内丸・矢巾図書館の蔵書構成について、分野ごとの集計調査を実施しました。
⑮	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進	【ワンストップ相談窓口機能】 医療系総合大学としての最先端の研究成果を知的財産化するために、ワンストップ相談窓口としての機能を常設し、対応可能者を 3 名配置しました。 【権利化支援と権利の維持管理機能】 知財専門家や TLO 等技術移転機関と連携した発明の権利化支援と権利の維持管理を行うことで、適切な知財マネジメントを実施し、5 件の特許出願、3 件の特許の設定登録、既存の 36 件の知的財産管理を実施しました。 【研究成果発信機能】 コロナ禍において展示会への大々的な出展は見合わせましたが、岩手県内開催のマッチングフェアにて歯学部の研究シーズを発表しました。 【人材育成機能】 個別発明相談会を感染対策の下で開催し、5 件の新規相談がありました。研究者の知的財産に関する理解を深めるとともに、発明の促進を図りました。 【外部機関との有機的な連携機能】 行政、産業クラスター等主催の連携会議や情報交換会への積極的な参画を通して有機的な連携を図り、産学連携の可能性を模索するとともに、情報収集に努めました。 【競争的資金(産学連携関係)への組織的な斡旋等獲得支援機能】 産学連携の初期の段階から外部機関の協力を得つつ研究に参画し、令和 2 年度いわて戦略的研究開発推進事業への採択までを支援し、採択後においても研究者と連携して産学連携の推進に努めました。
⑯	学生支援体制の推進	毎年度全学生に配付している「キャンパスライフガイド」は、作成時に内容更新を行い、現状に即したものとしました。また、2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、学友会の活動を大幅に縮小しましたが、方針検討の際には、都度、学生の意見を聴取しました。
⑰	学生のキャリアビジョンを拡げ、希望する就職を実現するための支援	薬剤師・看護師の多様な活躍フィールドと業務内容について学生の理解を深めるため、キャリアガイダンス及び学内外の講師による業種研究講演会を開催したほか、就職活動を円滑に進めるための支援として、企業プロフィール冊子を作成し、学生に配布しました。初めての卒業生を輩出する看護学部では、引き続き求人掲示コーナーの拡充、キャリアアップに関する講演会を実施し、最終的に就職率 100%となりました。このほか卒業生にキャリア支援事業に係る満足度調査、盛岡新卒応援ハローワークによる個別面談も継続実施しました。

②②	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	【入学生の確保】 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような学生募集活動を展開できませんでしたが、進学相談会への参加、各種広報媒体への出稿、ホームページ上での情報発信に力を入れ、受験生の掘り起こしを図りました。全8回を予定していたオープンキャンパスも9月から3回のみで開催となりましたが、代わりに企画したミニ学校見学会（定員制）が盛況で、両方の参加者を合わせると延べ119名に達しました。このほか、社会人の資格取得を応援する「専門実践教育訓練給付制度」の活用を促すため、歯科助手への周知にも努めました。また「高等教育の修学支援新制度（授業料減免と給付型奨学金）」の対象校に指定されたことにより、本制度を利用して入学する学生が増加しました。この結果、2021年度は定員を上回る41名（うち社会人3名）の入学生を確保することができました。 【国家試験合格率の高位維持】 国試解説書を活用した小テスト、補習講義、年間を通じ計26回に及ぶ模擬試験の実施等、より実践的な国家試験対策に取り組みました。成績下位の学生には早い段階で補習を行い、専門基礎分野の学力定着及び弱点分野克服を目指し、国試直前までマンツーマンで指導に当たりました。教員の手厚いサポートにより全員が最後までモチベーションを低下させることなく本番に臨み、令和2年度（第30回）歯科衛生士国家試験において、7年連続となる合格率100%を達成しました。
----	---------------------------	---

(ウ) 補助事業及び委託事業関係

事業計画	2020年度の実施状況
① 私立学校施設整備費補助金（共焦点レーザー顕微鏡システムの整備）	私立学校教育研究装置等施設整備費補助金（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費（研究装置））の採択を受け、共焦点レーザー顕微鏡システムを整備しました。同システムは、西研究棟1階の生命科学研究技術支援センターに設置し、今後は、全学的な基礎研究や研究指導において活用します。
② 私立大学等研究設備整備費等補助金（超薄切片作製システムの整備）	私立大学等研究設備等（研究設備）補助金に申請し本装置を整備する予定でしたが、本学の財政状況を鑑み、本装置の整備を行わないこととしました。
③ 私立大学等研究設備整備費等補助金（小動物3DマイクロX線CTシステムの整備）	私立大学等研究設備等（研究設備）補助金に申請し、文部科学省から内定を受けましたが、本装置の設置を年度内で完了させることが困難であったことから、内定を辞退することとしました。
④ 厚生労働行政推進事業費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業（平成25～令和2年度）	「岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究」 平成23年度に東日本大震災被災者健診を受診し、本研究に同意した約1万人について毎年調査を継続しており、令和2年度は4,792人が健診を受診しました。調査票への回答に基づき、適切な支援に繋げる取り組みを実施しています。令和2年度は事業最終年度であり、これまでの研究総括作業を進めました。

⑤	災害対応医療人の育成に向けた取り組み	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み「日本災害医療ロジスティクス研修（岩手県災害医療人材育成緊急強化補助事業）」は開催中止という苦渋の選択となりました。災害医療に携わる人材の育成を目的に、岩手県からの業務委託を受け例年開催している研修会についても、岩手県と調整の上、例年より規模を縮小あるいは中止した研修もありましたが「EMIS（広域災害救急医療情報システム）研修」「岩手県 DMAT 隊員養成研修」「CBRNE 研修」については昨年度に引き続き実施し、受講者個人のスキルアップだけではなく関係機関の連携強化に寄与することができました。
⑥	東北メディカル・メガバンク計画	地域住民コホート調査では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、詳細二次調査の目標 2 万 4 千人の協力を達成するとともに、多角的な追跡調査を実施しました。また、健康調査の結果回付、自治体への結果報告等、地域住民の健康維持・増進や被災地域の健康づくり施策を支援しました。バイオバンク構築では、試料・情報の分譲対象を拡大するとともに、大規模ゲノムコホート連携を推進しました。更に、ゲノム・オミックス解析研究や遺伝情報回付研究を継続し、個別化予防・医療の実現に向けて取り組みました。 健康調査の様子
⑦	岩手県ドクターヘリ運航事業	関係医療機関や消防機関との連携の下、安全かつ着実に運航を実施し、岩手県内の高度救急医療の体制強化に貢献しました。また、ドクターヘリ運航調整委員会等において、ドクターヘリ要請基準の改正及び事例検証等を行い、関係機関へ周知することで、ドクターヘリの有効活用に向けて取り組みました。
⑧	岩手県こころのケアセンター事業	岩手県沿岸自治体や医療機関等の関係機関と連携を図り、岩手県復興推進プランの中核を担い、被災住民や自治体職員への個別支援をはじめ、講演会等の人材育成や普及啓発活動等を中心に活動を行いました。発災から 10 年が経過し被災地のニーズが多様化・個別化し、更に、本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大も重なり、メンタルヘルス関連のリスクが更に増加している状況の中、感染対策を講じながら、個々人に寄り添った対応を意識して事業を展開しました。 （ア）被災者支援（沿岸 7 拠点における相談室活動、その他訪問活動等） 相談対応件数 5,334 件 （イ）普及啓発活動（被災住民を対象とした普及啓発活動、保健師等を対象とした人材育成活動等） 普及啓発研修会等 69 回、参加者 1,655 人、人材育成等研修会 84 回、同 1,963 人、関係機関との連絡調整 2,990 回 （ウ）大規模災害に対応できる人材の育成 スーパーバイズ 1,816 件、同行訪問 107 件、支援者支援（個別対応）695 件
⑨	いわてこどもケアセンター運営事業	東日本大震災津波に被災した子供に対するこころのケアを中長期的、安定的に行うため、岩手県から事業委託を受け、拠点施設となる「いわてこどもケアセンター」を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟 1 階に設置し活動しています。医療・教育・福祉等関係機関と連携した専門的、継続的なケアに取り組み、令和 2 年度の沿岸地域の延べ患者数は 1,665 名でした。

(エ) 診療関係

事業計画	2020 年度の実施状況
① 医師の時間外労働規制に対する取り組み	2020 年度は、医師の働き方改革推進プロジェクトチームを立ち上げ、議論を開始しました。医師の労働時間把握については、外勤時間の把握が必須であるため、出退勤管理システムの構築と運用づくりを行うとともに、自己研鑽を含めた時間外労働時間の基準づくりを行うこととし、出退勤管理システムのトライアル準備まで完了しています。タスク・シフティングの推進では、診断書作成代行等を行う医師事務作業補助者を 18 名採用し、特定行為者は 2 名を養成しています。その他の具体的な取り組みは、主治医制の見直しを行い、全診療科がグループ制へ移行しました。医師の時間外労働規制に対する取り組みの最も重要な点が、医師の労働時間把握にあるため、IC カードを用いた出退勤打刻の実施徹底を図りました。この結果、2020 年度末時点で、無打刻者ゼロを達成しています。次年度は、出退勤管理システムの本格稼働を目指し、計画的に準備を進めていくこととしています。
② 病院運用の効率化に向けた取り組みの推進	外来及び病棟運用の効率化については、地域医療機関との更なる連携体制の強化を目的として、県内の医療機関 766 施設にアンケート調査を実施するとともに、その回答結果を基に、より効率的な患者紹介体制の構築に向け、2 病院の紹介窓口を一本化し、WEB 予約システムも含めた新たな紹介体制を 2021 年 6 月から運用開始予定です。また、患者さんへのサポート体制の充実に向け、多職種による入院前面談の対象診療科拡大や、入院時のアメニティ内容の充実を図るとともに、患者さんからの投書を積極的に活用し、病院運用の改善に向けた取り組みを実施しました。医師業務の負担軽減に向けては、医師事務作業補助者を新たに 18 名採用するとともに、病棟当直からオンコール体制への移行を推進し、また、電子カルテ関連システムの機能追加やバージョンアップを図り、業務効率の改善を図りました。医療経費については、新型コロナウイルス感染症の影響により医療材料等の流通不足が生じたため、在庫確保及び備蓄が必要となり、購入金額・在庫量ともに例年以上の経費負担となりましたが、一部補助金活用により負担軽減を図りました。また、医療機器の保守契約については、一括保守契約及び保険スキームの適用等により保守費用の圧縮を図りました。本取り組みについては、2021 年度も継続して実施していくこととしています。

(オ) 管理運営関係

事業計画	2020 年度の実施状況
① ガバナンスの向上等による運営基盤の強化	2020 年度に策定した法人の自主行動規範であるガバナンス・コードの下、中期計画の着実な達成に向けて、10 月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果については、機関会議等で確認の上、新型コロナウイルス感染症流行に伴う影響や財政状況等も踏まえて本計画の一部見直しを行い、2021 年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。
② 勤怠管理システムの導入について	労働基準法による労働時間の適正な把握・管理及び働き方改革関連法の施行に伴う関連規制の遵守のため、附属病院移転計画と併せて勤怠管理システムに必要なインフラ整備と職種段階的な運用を計画し、2019 年 10 月からは全職員の出退勤打刻の記録を開始しました。その後、同システムによる勤怠管理の試験運用を経て、2020 年 1 月に事務局において本格運用を開始しました。同年 4 月には看護部以外のメディカルスタッフ部門、同年 9 月には看護部で本格運用を開始し、これにより、2020

I 法人の概要

		年度内に教育職員以外の大半の勤怠管理を同システムにより成し遂げることができました。 なお、今後は医師を含む教育職員の同システムによる勤怠管理の実現化に向け、医師の働き方改革や社会情勢を見据えながら、具体的な運用方針について引き続き検討を進めます。
③	借入金利息の支払い	附属病院移転に係る支払資金として、2019 年度に市中金融機関から借り入れた 200 億円（返済期間 15 年）について、借入金利息 77,999,991 円の支払いを行いました。
④	資金計画のための財務分析	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学の財政状況に与える影響について検討・分析し、決算見込並びに財政状況の改善に向けた課題を抽出し、次年度予算編成を含めた中長期的な対応を行いました。
⑤	資金運用方針の策定	資金運用により資金の増加を目指す計画としていましたが、本学の財政状況を鑑み、まずはこの状況を改善し、財務体質を強化した上で資金運用を行う必要があることから、当面、本計画を凍結することとしました。
⑥	本法人保有資産の有効活用	【不動産の有効活用に向けた取り組み】 保有不動産の活用方針等の検討を進めるため、路線価等の市場調査を実施しました。今後も大学を取り巻く社会情勢等を見極めながら、継続的に検討を行います。 【物品（機器・備品等）の有効活用に向けた取り組み】 各部署で使用しなくなった機器・備品等をリストアップし、これらを他の部署で使いたい場合に、用度課の学内限定ホームページ上でトレードできる体制を整備し、2021 年 3 月から運用を開始しました。
⑦	仮想サーバメモリの増設	病院部門システム 161 台分のサーバを集約し稼働させている仮想サーバのメモリは、平均使用量が 80%を超過していたため、メモリを 960GB 増設しました。増設後はメモリ平均使用量が 60%程度となり、システムの安定化を図ることができました。
⑧	矢巾地区 A 敷地無線 LAN 整備	授業におけるマルチメディアコンテンツの活用及び学生の自学自習環境整備のため、矢巾地区 A 敷地の東講義実習棟、東研究棟 SGL、マルチメディア教育研究棟、学生寮に無線 LAN アクセスポイントを 147 台設置し、約 10,443 m²のエリアでインターネットが利用できるようになりました。
⑨	ペーパーレス会議用 iPad 追加購入	印刷コスト削減及び環境への配慮のため、ペーパーレス会議用 iPad を 100 台追加購入し、2020 年度は 266 の会議で利用されました（前年度比約 23%増）。また、新型コロナウイルス感染症対策として、iPad は Web 会議システムによる面会用デバイスとしても活用されました。
⑩	標準的な内部監査手続きの徹底による法人運営の効率化に資する内部監査の実施	令和 2（2020）年度内部監査計画に基づき、令和 2 年 7 月から令和 3 年 3 月までの間、内部監査要領等に定められた監査プロセスに沿って定期監査及び臨時監査を実施した結果、全体としては概ね良好でしたが、いくつか課題等がみられたことから、その改善方策について監査対象部署との意見交換を実施し、解決に向けた取組について提言等を行いました。また、令和 2（2020）年度内部監査報告書を内部監査室のホームページ上で公開することにより、内部監査の実施状況及び実施結果に関する学内周知を図りました。

(カ) 施設設備関係

事業計画	2020 年度の実施状況
① 矢巾キャンパス電気室の直流電源装置蓄電池設備更新	矢巾キャンパスの直流電源装置は、建築基準法で設置が義務付けられている「予備電源設備」に該当する重要設備で、設置後 13 年が経過し蓄電池の劣化が生じたことから、非常時における電源の安定供給を図るため更新を行いました。
② 矢巾キャンパス外壁修繕計画の立案	第一次事業で竣工した校舎について、2019 年度に体育館、食堂棟の外壁を修繕しましたが、他の建物の外壁にも経年劣化が生じていることから、中長期的な修繕計画を立案するために外壁修繕調査を実施し、当該結果を基に 2021 年度以降の外壁修繕計画を立案しました。
③ 内丸メディカルセンター入院棟屋上防水修繕計画の立案	内丸メディカルセンター入院棟（旧循環器医療センター）は、竣工後 23 年が経過し、屋上のコンクリートが凍害によりひび割れている等、雨漏れの危険性が増していることから、計画的に修繕を行っていくこととしておりましたが、内丸メディカルセンター新棟建設までの計画が見直されたことから、本計画についても 2021 年度以降の修繕計画を見直しました。 なお、緊急性を要した塔屋屋根の防水修繕は当初の計画通り実施しました。
④ 内丸キャンパス 1 号館車寄せ修繕	内丸キャンパス 1 号館は、本学の歴史的に重要な施設であることから、計画的に修繕を行っていくこととして、2020 年度は車寄せ部分の修繕を行う計画としていましたが、今年度に精密検査を行った結果、躯体までの劣化はなく、緊急を要する状態にないことから、本計画の実施を当面見送ることとしました。
⑤ 矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事	2020 年度の実施を予定していましたが、矢巾町の拡幅工事計画が 2021 年度に延期となったために工事の実施を見送り、改めて 2021 年度事業計画に盛り込みました。
⑥ 図書館防災対策	費用削減を図るために 2020 年度以降の事業計画の見直しを行い、傾斜スライド棚 76 段分の整備計画から規模を縮小しました。これにより、学生の利用頻度が高い、基礎医学分野の図書が配架してある 49 段を整備しました。
⑦ 臨床研修医等宿舎「Resident Heim（レジデントハイム）」の整備	大学及び岩手県の医師確保並びに医療人材の育成を図るため臨床研修医等宿舎「Resident Heim（レジデントハイム）」を矢巾キャンパス敷地内に整備しました。 本整備工事は令和 2 年 9 月に着工、令和 3 年 3 月中旬に竣工し、令和 3 年度採用の臨床研修医等から利用を開始しています。本宿舎は「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」間のたすきがけ研修における院外研修医、更に認定看護師や特定行為の研修課程を履修する高度看護研修センター研修生も利用することとしており、本県の医療提供体制整備の充実及び医師の働き方改革におけるタスクシフトの推進に資する施設として幅広い活用が期待されています。  建物外観  居室

9. 主な行事等

【令和2年】

- 4月 1日 全学教育推進機構新任教員対象 FD 講習会（オンライン開催）
新入職員等辞令交付式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室ほか）
歯学部学業奨励奨学金表彰【2～5 学年】（内丸・矢巾キャンパス）
- 4月 3日 岩手医科大学医療専門学校入学セレモニー（医療専門学校第1講義室）（歯科衛生学科 34 名）
歯学部学業奨励奨学金表彰【6 学年】（内丸キャンパス）
- 4月 14日 名誉教授称号授与式（矢巾キャンパス本部棟4階会議室）
- 5月 15日 第19回医学教育講演会（オンライン開催）
- 6月 10日 第1回薬学部教育研修会（オンライン開催）
- 6月 12日、15日 薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【2～4、6 学年】（矢巾キャンパス）
- 6月 26日 教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-A 講義室）
- 6月 27日 第83回解剖体慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 7月 6日 第16回全学教育推進機構 FD 講習会（オンライン開催）
- 7月 29日 教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
第1回看護学部 FD・SD ワークショップ（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 8月 4日～7日 岩手医科大学医療専門学校 学校見学会
- 8月 5日 第2回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-A、4-B 実習室）
- 8月 7日～ 岩手医科大学 WEB オープンキャンパスサイト公開
- 8月 22日 大学院歯学研究科前期入学試験
- 8月 25日 広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 8月 31日 大学院医学研究科・歯学研究科・薬学研究科合同 教員研修会（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室、オンライン開催）
教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-A 講義室）
- 9月 7日 岩手医科大学臨床研修医等宿舍新築工事起工式（矢巾キャンパス）
- 9月 8日 岩手医科大学 秋季卒業式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）（薬学部 19 名）
- 9月 11日 災害時における業務継続計画（BCP）訓練等研修会（災害時地域医療支援教育センター）
- 9月 13日 岩手医科大学医療専門学校第1回オープンキャンパス
- 9月 23日 歯学部第1回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
- 9月 24日～25日 岩手 DMAT 隊員養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 10月 3日 大学院薬学研究科前期入学試験
岩手医科大学医療専門学校第2回オープンキャンパス
- 10月 5日 岩手医科大学医療専門学校ネームプレート交付式（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
- 10月 14日 CBRNE 災害研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 10月 20日 歯学部第2回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講堂、オンライン開催）
- 10月 24日 岩手医科大学医療専門学校推薦入学試験・社会人1期入学試験
第2回看護学部 FD・SD ワークショップ（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4-A 講義室）
- 10月 26日 第53回動物慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
第18回全学教育推進機構委員会 FD 講習会（オンライン開催）

- 11月 5日 医学部第4学年白衣授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
第3回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-C講義室）
- 11月20日 大学院医学研究科入学試験【第1回】
- 11月21日 学校推薦型選抜（医学部）
- 11月22日 学校推薦型選抜（歯学部・薬学部・看護学部）、社会人入学者選抜（薬学部・看護学部）、
帰国子女入学者選抜（薬学部）、編入学者選抜前期（歯学部）、編入学者選抜（看護学部）
- 11月28日 岩手医科大学医療専門学校一般1期・社会人2期入学試験
- 11月30日 第19回全学教育推進機構委員会FD・SD講習会(オンライン開催)
- 12月 5日 岩手医科大学医療専門学校第3回オープンキャンパス
- 12月19日 岩手医科大学医療専門学校一般2期・社会人3期入学試験
- 【令和3年】**
- 1月 4日 理事長年頭挨拶（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室、オンライン配信）
- 1月20日 一般選抜一次（医学部）
高度看護研修センター認定看護師教育課程修了式（附属病院10階中会議室）
- 1月29日～30日 一般選抜二次（医学部）
- 2月 5日 一般選抜前期（歯学部・薬学部）、大学入学共通テスト利用選抜前期（歯学部）
- 2月 8日 大学院歯学研究科中期入学試験
一般選抜前期（看護学部）
- 2月16日 学士編入学者選抜一次（医学部）
- 2月19日 大学院医学研究科入学試験【第2回】
- 2月24日 学士編入学者選抜二次（医学部）
- 2月25日 転部入学者選抜一次（医学部）
- 2月27日 岩手医科大学医療専門学校一般3期・社会人4期入学試験
- 3月 4日 転部入学者選抜二次（医学部）
- 3月 6日 大学院薬学研究科後期入学試験
- 3月 8日 定年退職教授による最終講義（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
（小山耕太郎教授、櫻井滋教授、佐原資謹教授、藤井勲教授、駒野宏人教授、嶋森好子教授、
三浦まゆみ教授、宮本郁子教授、佐藤英一教授）
高度看護研修センター特定行為教育課程修了式（附属病院10階中会議室）
- 3月 9日 岩手医科大学医療専門学校卒業式（医療専門学校第3講義室）（歯科衛生学科32名）
- 3月11日 教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-B講義室）
- 3月12日 岩手医科大学卒業式（矢巾キャンパス大堀記念講堂、ライブ配信）



岩手医科大学卒業式

大学院	医学研究科博士課程	6名	修士課程	4名
	歯学研究科博士課程	4名		
	薬学研究科博士課程	2名		
学部	医学部	142名		
	歯学部	53名		
	薬学部	80名		
	看護学部	93名		

I 法人の概要

- 3月15日 一般選抜後期（歯学部・薬学部・看護学部）、一般選抜追試験（医学部）、
大学入学共通テスト利用選抜後期（歯学部）、編入学者選抜後期（歯学部）
- 3月22日 臨床研修医等宿舎「Resident Heim（レジデントハイム）」
落成セレモニー（矢巾キャンパス）
- 3月24日 歯学部第3回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
- 3月25日 教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-A講義室）
- 3月26日 大学院歯学研究科後期入学試験
- 3月31日 定年退職者等辞令交付式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）



落成セレモニー

10. 土地の増減

増減なし

11. 建物等の増減

（1）建 物

増 加			1,183.44 m ²	257,282,151 円
[内訳]	1	Resident Heim（レジデントハイム）新築工事	1,183.44 m ²	249,510,662 円
	2	附属病院10階当直室改修工事	0 m ²	6,625,074 円
	3	トクタヴェール2階栄養部倉庫改修工事	0 m ²	1,146,415 円

（2）建物附属設備

増 加				161,036,014 円
[主な内訳]	1	Resident Heim（レジデントハイム）新築工事		120,369,090 円
	2	附属病院10階当直室改修工事		19,090,667 円
	3	附属病院外来受付待合呼出表示モニター増設工事		4,631,000 円
	4	矢巾キャンパス西研究棟1階LSTセンター改修工事		2,131,631 円

（3）構築物

増 加				24,483,712 円
[主な内訳]	1	Resident Heim（レジデントハイム）新築工事（舗装工事他）		17,338,310 円
	2	附属病院構内案内看板改修工事		3,442,402 円
	3	附属病院道路案内標識設置工事		3,553,000 円
減 少				Δ6,020,115 円
[内訳]	1	A敷地インターロッキング舗装、コンクリート看板塀撤去		Δ3,569,315 円
	2	附属病院構内救急車両入口サイン等の一部撤去		Δ2,450,800 円

12. 取得した主な機器備品等

(1) 医学部		271,591,969円		
1	共焦点レーザー顕微鏡システム	1式	11	全自動迅速同定・感受性測定装置 ライサスS4 1式
2	検体管理システム SATS	1式	12	呼吸機能測定装置 1式
3	小動物用代謝計測システム	1式	13	汎用血液ガス分析装置 ABL800 FLEX システム 1式
4	高度胸部診察シミュレーションシステム	2式	14	全自動遺伝子解析装置 FilmArrayTouchシステム 1式
5	Webclassサーバシステム	1式	15	汎用人工呼吸器ベンチレータ 22式
6	汎用超音波画像診断装置	1式	16	血液浄化装置 ACH-Σ Plus 2式
7	SRS Serverシステム	1式	17	超音波診断装置 Xario 200G 1式
8	マウス用個別換気ケージシステムラック	1式	18	超音波画像診断装置 SonoSite EdgeII 1式
9	講義収録用サーバ	1式	19	成人用人工呼吸器 Evita V300 3式
10	超音波画像診断装置	1式	20	インファントベンチレータ SLE6000 1式
	他		21	新生児・小児用人工呼吸器 ファビアンHFOi 6式
				他
(2) 歯学部		28,827,678円	(7) 附属病院(歯科)	441,100円
1	歯科用ユニット エステチカ	1式	1	オサダエナック11W 1式
2	StepOne リアルタイムPCRシステム	1式		
3	訪問診療用ポータブルユニット	1式	(8) 岩手県高度救命救急センター	69,042,272円
4	レーザープロジェクタ(事業計画更新分)	3式	1	成人用人工呼吸器 Evita V300 3式
	他		2	個人用透析装置 3式
(3) 薬学部		14,349,720円	3	アコマ人工呼吸器 ART-300 3式
1	レーザープロジェクタ(事業計画更新分)	4式	4	サイレンティア・スクリーン 12式
2	ノートパソコン(事業計画更新分)	14式	5	電動油圧手術台 1式
	他		6	搬送用人工呼吸器 1式
				他
(4) 看護学部		5,023,392円	(9) 附属内丸メディカルセンター(医科)	273,786,468円
1	アクティウォッチスペクトラム	6式	1	全身用X線CT診断装置 1式
2	ノートパソコン(事業計画更新分)	6式	2	手術用顕微鏡システム 1式
	他		3	酸化エチレンガス カートリッジ式滅菌装置 1式
(5) 教養教育センター		5,296,476円	4	全自動便尿分析装置 1式
1	複合機	1式	5	超音波診断装置用4D経腹プローブ 1式
	他			他
(6) 附属病院(医科)		724,926,652円	(10) 附属内丸メディカルセンター(歯科)	4,370,960円
1	回診用X線撮影装置	1式	1	口腔外バキューム 5式
2	ニプロ輸液ポンプ	320式		他
3	パルス方式キセノン紫外線(UV)照射ロボット	1式	(11) 医療専門学校	189,640円
4	新型コロナウイルス感染症対策ソリューション アルム	1式	1	カラーレーザープリンタ 1式
5	キャピオックス遠心ポンプコントローラー	2式		
6	過酸化水素低温プラズマ滅菌器 ステラッド	1式	(12) 法人	32,354,250円
7	サイレンティア・スクリーン	1式	1	無線LAN機器(無線LANアクセスポイント147台他) 1式
8	汎用人工呼吸器サーボベンチレータシステム	1式		他
9	超音波手術器 CUSA Clarity	1式		
10	遺伝子解析装置 アプライドバイオシステムズ	3式		

総額1,430,200,577円の機器備品等を取得しました。

13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等

(単位:円)

(1) 私立大学経常費補助金	1,857,230,000
1 私立大学等経常費補助金(日本私立学校振興・共済事業団)	1,857,230,000
(2) その他の国庫補助金	878,470,000
1 高等教育の修学支援制度 授業料等減免(日本私立学校振興・共済事業団)	32,420,000
2 医療研究開発推進事業費補助金(日本医療研究開発機構(AMED))	606,790,000
3 新型コロナウイルス感染症拡大防止・医療提供体制確保支援補助金(厚生労働省)	50,250,000
4 臨床研修費等補助金(医師)(厚生労働省)	28,740,000
5 発熱外来診療体制確保支援補助金(厚生労働省)	23,140,000
6 臨床研修費等補助金(歯科医師)(厚生労働省)	23,050,000
7 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金(厚生労働省)	2,750,000
8 医療関係者研修費等補助金(看護師の特定行為に係る研修事業)(厚生労働省)	700,000
9 両立支援等助成金(厚生労働省)	540,000
10 私立学校情報機器整備費補助金(文部科学省)	9,230,000
11 企業主導型保育事業費補助金(内閣府)	100,660,000
12 認定看護師の特定行為研修受講推進事業補助金(日本看護協会)	200,000
(3) 地方公共団体補助金	1,894,440,000
1 入院施設等確保事業費補助金(空床確保事業)(岩手県)	686,480,000
2 高度救命救急センター運営費補助金(岩手県)	256,190,000
3 ドクターヘリ運航事業補助金(岩手県)	248,140,000
4 医学部地域枠に係る教育研究費(岩手県)	225,000,000
5 入院施設等確保事業費補助金(空床確保事業)(内丸)(岩手県)	98,480,000
6 周産期母子医療センター運営事業費補助金(岩手県)	84,300,000
7 医療局医学教育研究助成金(岩手県)	60,000,000
8 緊急包括支援事業(医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業)(岩手県)	52,000,000
9 緊急包括支援事業(感染症対策・消毒機器整備)(岩手県)	33,000,000
10 入院施設等確保事業費補助金(空床準備事業)(岩手県)	29,100,000
11 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金(岩手県)	20,140,000
12 地域医療研究費補助金(岩手県)	20,000,000
13 医療情報連携推進事業費補助金(岩手県)	11,840,000
14 地域自殺対策強化事業費補助金(岩手県)	10,930,000
15 私立専修学校専門課程授業料等減免補助金(岩手県)	7,350,000
16 緊急包括支援事業(医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業)(岩手県)	4,500,000
17 認定看護師育成支援事業費補助金(岩手県)	4,160,000
18 医療従事者宿泊施設確保事業費補助金(岩手県)	2,410,000
19 院内保育所運営事業費補助金(岩手県)	2,330,000
20 私立専修学校運営費補助金(岩手県)	2,220,000
21 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助金(岩手県)	2,130,000
22 産科医等確保支援事業補助金(岩手県)	1,870,000
23 女性医師就労環境改善事業補助金(岩手県)	1,810,000
24 医療従事者宿泊施設確保事業費補助金(岩手県)	1,810,000
25 医療勤務環境改善支援事業(岩手県)	1,500,000
26 新入看護職員研修事業費補助金(岩手県)	1,460,000
27 周産期電子カルテ運用事業費補助金(岩手県)	1,390,000
28 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助金(内丸)(岩手県)	1,310,000
29 認定看護師養成研修事業費補助金(岩手県)	1,270,000
30 緊急包括支援事業(外国人患者受入体制整備)(岩手県)	1,060,000

31	新生児医療担当医師確保支援事業費補助金(岩手県)	870,000
32	保育所等感染症対策継続支援事業費補助金(岩手県)	460,000
33	私立学校被災児童生徒等就学支援事業補助金(岩手県)	250,000
34	入院施設等確保事業費補助金(消毒事業)(岩手県)	230,000
35	保育対策総合支援事業費補助金(岩手県)	200,000
36	結核健康診断費補助金(岩手県)	180,000
37	病院群輪番制病院運営費補助金(盛岡市)	7,180,000
38	小児救急医療支援事業補助金(盛岡市)	700,000
39	公的病院等運営事業補助金(小児医療事業)(盛岡市)	6,190,000
40	公的病院等運営事業補助金(救急医療事業)(盛岡市)	3,630,000
41	小児救急医療受入体制整備事業補助金(盛岡市)	260,000
42	公的病院等運営事業補助金(小児救急医療事業)(盛岡市)	110,000
(4) 受託事業収入(公的機関受託収入)		628,310,000
1	岩手県こころのケアセンター等設置運営業務委託費(岩手県)	364,840,000
2	いわてこどもケアセンター等設置運営業務委託費(岩手県)	52,240,000
3	精神科救急医療施設運営事業委託費(岩手県)	16,570,000
4	こどもの心の診療ネットワーク事業委託費(岩手県)	14,350,000
5	精神科救急医療施設(身体合併対応施設事業)委託費(岩手県)	12,640,000
6	岩手県難病医療連絡協議会設置事業委託費(岩手県)	12,590,000
7	岩手県周産期救急搬送コーディネータ事業委託費(岩手県)	10,350,000
8	岩手県地域医療支援センター業務委託費(岩手県)	10,280,000
9	岩手県肝疾患相談センター運営事業委託費(岩手県)	8,010,000
10	岩手県障がい者(児)歯科診療事業委託費(岩手県)	7,410,000
11	岩手県基幹型認知症疾患医療センター運営事業委託費(岩手県)	7,370,000
12	不妊専門相談センター事業委託費(岩手県)	5,940,000
13	災害時実践力強化事業委託費(岩手県)	4,610,000
14	小児医療遠隔支援業務委託費(岩手県)	4,530,000
15	若年性認知症支援コーディネータ事業委託費(岩手県)	3,150,000
16	岩手県予防接種センター機能推進事業委託費(岩手県)	2,000,000
17	災害時における業務継続計画(BCP)訓練等研修会実施業務委託費(岩手県)	310,000
18	エイズ治療中核拠点病院カウンセラー設置事業委託費(岩手県)	230,000
19	先天性代謝異常等検査事業相談業務委託費(岩手県)	170,000
20	新型コロナウイルス感染症予防接種に係る岩手県専門電話相談業務委託費(岩手県)	50,000
21	新型コロナウイルスに係る地域外来・検査センター設置および運営業務委託費(盛岡市)	90,670,000
(5) 施設設備補助金		735,360,000
1	私立学校施設整備費補助金(研究装置)(文部科学省)	28,680,000
2	私立大学等研究設備整備費等補助金(文部科学省)	6,360,000
3	緊急包括支援事業(入院医療機関設備整備事業)(岩手県)	313,140,000
4	臨床研修医等宿舎整備費補助金(岩手県)	100,000,000
5	緊急包括支援事業(重点医療機関設備整備事業)(岩手県)	75,580,000
6	緊急包括支援事業(重点医療機関設備整備事業)(内丸)(岩手県)	66,000,000
7	緊急包括支援事業(検査機関設備整備事業)(岩手県)	56,420,000
8	岩手県高度救命救急センター設備整備費補助金(岩手県)	50,000,000
9	小児医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	13,780,000
10	ドクターヘリ設備整備費補助金(岩手県)	8,250,000
11	周産期医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	7,780,000
12	実践の手術手技向上研修実施機関設備整備費補助金(岩手県)	5,330,000
13	緊急包括支援事業(検査機関設備整備事業)(内丸)(岩手県)	2,860,000
14	緊急包括支援事業(入院医療機関設備整備事業)(内丸)(岩手県)	1,180,000

II 人事の概要

1. 主な役職人事

新任

学生部長	古 山 和 道	(令和2年4月1日付)
教養教育センター副センター長	江 尻 正 一	(令和2年4月1日付)
附属病院副院長	佐 藤 悦 子	(令和2年4月1日付)

再任

学長	祖父江 憲 治	(令和2年4月1日付)
副学長(歯学部改革担当)・歯学部長・岩手医科大学医療専門学校長	三 浦 廣 行	(令和2年4月1日付)
副学長(岩手県こころのケアセンター・発達医学担当)	酒 井 明 夫	(令和2年4月1日付)
看護学部長	嶋 森 好 子	(令和2年4月1日付)
全学教育推進機構長	佐 藤 洋 一	(令和2年4月1日付)
教養教育センター長	松 政 正 俊	(令和2年4月1日付)
看護学部副学部長	末 安 民 生	(令和2年4月1日付)
学生副部長	小 原 航	(令和2年4月1日付)
学生副部長	末 安 民 生	(令和2年4月1日付)

2. 主な教職員人事

昇任・任用

法科学講座法医学分野	教授	高 宮 正 隆	(令和2年4月1日付)
医学部障がい児者医療学講座	特命教授	亀 井 淳	(令和2年4月1日付)
医学部外科学講座	教授	新 田 浩 幸	(令和2年5月1日付)
病理学講座機能病態学分野	教授	片 岡 竜 貴	(令和2年11月1日付)

退職

医学部小児科学講座	教授	小 山 耕太郎	(令和3年3月31日付)
医学部睡眠医療学科	教授	櫻 井 滋	(令和3年3月31日付)
生理学講座病態生理学分野	教授	佐 原 資 謹	(令和3年3月31日付)
教養教育センター物理学科	教授	佐 藤 英 一	(令和3年3月31日付)
薬学部薬科学講座天然物化学分野	教授	藤 井 勲	(令和3年3月31日付)
薬学部生物薬学講座神経科学分野	教授	駒 野 宏 人	(令和3年3月31日付)
看護学部共通基盤看護学講座	教授	嶋 森 好 子	(令和3年3月31日付)
看護学部共通基盤看護学講座	教授	三 浦 まゆみ	(令和3年3月31日付)
看護学部地域包括ケア講座	教授	宮 本 郁 子	(令和3年3月31日付)
看護学部地域包括ケア講座	教授	末 安 民 生	(令和3年3月31日付)
医学部臨床検査医学講座	特任教授	鈴 木 啓二朗	(令和3年3月31日付)
看護学部共通基盤看護学講座	特任教授	秋 山 智 弥	(令和3年3月31日付)

3. 教職員総数

教職員総数は、年度当初3,012名、年度間の採用者数は325名(内 4月1日付採用者270名)、退職者数は247名でした。

Ⅲ 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数

学 校	学部・学科等	入学定員	入学者※1	卒業（修了）者	学生数※2
岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	31名	6名	141名
	大学院医学研究科 修士課程	10名	6名	4名	10名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	10名	4名	34名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	1名	2名	11名
	大学院薬学研究科 修士課程	3名	0名	0名	0名
	医学部	126名 ※3	123名	142名	806名
	歯学部	73名	59名	53名	348名
	薬学部	120名	42名	99名 ※5	528名
	看護学部	90名 ※4	90名	93名	366名
医療専門学校	歯科衛生学科	40名	34名	32名	99名

※1 第1学年入学者

※4 第3学年への学士編入学定員（5名）は含めない。

※2 令和2年5月1日現在

※5 秋季卒業生（19名）を含む。

※3 第3学年への学士編入学定員（4名）は含めない。

2. 学位授与者数

大学院研究科	博士課程修了者 (甲)	論文提出者 (乙)	修士課程修了者
医 学 研 究 科	29名	8名	4名
歯 学 研 究 科	4名	0名	
薬 学 研 究 科	2名	0名	0名

3. 文部科学省科学研究費助成事業

214件 232,493,853 円

(1) 科学研究費補助金（代表）

①基盤研究（B）	4件	19,006,000円
藤 井 勲（薬学部 薬科学講座天然物化学分野）		3,510,000円
原 田 英 光（解剖学講座発生生物・再生医学分野（歯））		1,950,000円
八 木 淳 子（医学部 神経精神科学講座）		2,756,000円
佐々木 真 理（医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門）		10,790,000円

(2) 科学研究費補助金（学外分担）

①新学術領域研究（研究領域提案型）『学術研究支援基盤形成』	1件	2,600,000円
清 水 厚 志（医歯薬総合研究所 生体情報解析部門）		2,600,000円
②基盤研究（A）	6件	5,918,900円
小 松 恵（看護学部 共通基盤看護学講座）		152,100円
江 尻 正 一（教養教育センター 情報科学科数学分野）		130,000円
坂 田 清 美（衛生学公衆衛生学講座（医））		46,800円
中 膳 克 己（生理学講座統合生理学分野（医））		4,810,000円
山 下 典 生（医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門）		390,000円
志 賀 清 人（医学部 頭頸部外科学科）		390,000円
③基盤研究（B）	15件	4,355,000円
藤 原 俊 朗（医学部 脳神経外科学講座）		130,000円
黒 瀬 雅 之（生理学講座病態生理学分野（歯））		130,000円
阪 本 泰 光（薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野）		260,000円
川 井 忠（歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野）		130,000円

Ⅲ 学事の概要

黒 瀬 雅 之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	910,000円
齊 藤 元	(医学部 呼吸器外科学講座)	130,000円
八 木 淳 子	(医学部 神経精神科学講座)	390,000円
島 崎 伸 子	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	390,000円
黒 瀬 雅 之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	130,000円
黒 瀬 雅 之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	260,000円
秋 山 直 美	(医学部 医療安全学講座)	390,000円
清 水 厚 志	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	130,000円
馬 場 長	(医学部 産婦人科学講座)	390,000円
秋 山 智 弥	(看護学部 共通基盤看護学講座)	390,000円
秋 山 直 美	(医学部 医療安全学講座)	195,000円

(3) 学術研究助成基金助成金 (代表)

①基盤研究 (C)		110件	136,354,953円
伊 藤 智 範	(医学教育学講座地域医療学分野 (医))		650,000円
佐 藤 英 一	(教養教育センター 物理学科)		780,000円
原 田 聡	(医学部 放射線医学講座)		780,000円
久保田 美 子	(生化学講座分子医化学分野 (医))		1,040,000円
真 柳 平	(医歯薬総合研究所 神経科学研究部門)		1,430,000円
關 谷 瑞 樹	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		1,170,000円
中 西 真 弓	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		1,300,000円
高 橋 巖	(薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野)		845,000円
片 岡 竜 貴	(病理学講座機能病態学分野 (医))		1,310,953円
柴 崎 晶 彦	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)		1,170,000円
上 杉 憲 幸	(医学部 病理診断学講座)		390,000円
西 谷 直 之	(薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)		1,430,000円
事 崎 由 佳	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門)		650,000円
吉 岡 邦 浩	(医学部 放射線医学講座)		1,040,000円
赤 坂 真奈美	(医学部 小児科学講座)		910,000円
柿 坂 啓 介	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		1,430,000円
吉 野 直 人	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		1,040,000円
石 垣 泰	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)		1,170,000円
石 田 和 茂	(医学部 外科学講座)		1,300,000円
菅 原 淳	(医学部 脳神経外科学講座)		1,170,000円
吉 田 研 二	(医学部 脳神経外科学講座)		1,170,000円
小笠原 邦 昭	(医学部 脳神経外科学講座)		520,000円
馬 場 長	(医学部 産婦人科学講座)		260,000円
大 津 圭 史	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		1,690,000円
下 山 佑	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		975,000円
菊 池 和 子	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)		1,690,000円
田 邊 憲 昌	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		780,000円
佐 原 資 謹	(生理学講座病態生理学分野 (歯))		442,000円
森 川 和 政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)		325,000円
岸 光 男	(歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)		1,040,000円
木 村 祐 輔	(医学部 緩和医療学科)		1,300,000円
坪 田 恵	(衛生学公衆衛生学講座 (医))		1,430,000円
末 安 民 生	(看護学部 地域包括ケア講座)		104,000円
三 宅 美 智	(看護学部 地域包括ケア講座)		650,000円
蛸 崎 奈津子	(看護学部 成育看護学講座)		910,000円
旭 浩 一	(医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		1,040,000円
田 村 理	(薬学部 薬科学講座創薬有機化学分野)		1,690,000円
後 藤 奈緒美	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		1,950,000円
阿久津 仁 美	(解剖学講座細胞生物学分野 (医))		1,690,000円
松 尾 泰 佑	(薬学部 医療薬科学講座創剤学分野)		1,560,000円
幅 野 涉	(薬学部 医療薬科学講座薬物代謝動態学分野)		1,950,000円
東 尾 浩 典	(教養教育センター 化学科)		1,430,000円
鈴 木 喜 郎	(生理学講座統合生理学分野 (医))		1,430,000円
及 川 浩 樹	(病理学講座機能病態学分野 (医))		1,430,000円
王 挺	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)		1,560,000円

山下雅大	(医学部 内科学講座呼吸器内科分野)	1,950,000円
前田哲也	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	650,000円
有賀久哲	(医学部 放射線腫瘍学科)	1,040,000円
田村明生	(医学部 放射線医学講座)	910,000円
藤原俊朗	(医学部 脳神経外科学講座)	780,000円
黒田英克	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	910,000円
滝川康裕	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,040,000円
佐藤衛	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	1,300,000円
森野禎浩	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	910,000円
前門戸任	(医学部 内科学講座呼吸器内科分野)	780,000円
古和田周吾	(医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)	1,560,000円
齊藤元	(医学部 呼吸器外科学講座)	780,000円
肥田圭介	(医学部 医療安全学講座)	1,430,000円
遠藤史隆	(医学部 外科学講座)	1,430,000円
上野育子	(医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	1,300,000円
千田光平	(医学部 脳神経外科学講座)	1,300,000円
板持広明	(医学部 臨床腫瘍学講座)	910,000円
入江太朗	(病理学講座病態解析学分野(歯))	1,170,000円
小守林靖一	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	910,000円
小林琢也	(歯学部 補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)	910,000円
一ノ渡学	(看護学部 看護専門基礎講座)	1,170,000円
大間々真一	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	1,430,000円
遠藤太	(看護学部 地域包括ケア講座)	598,000円
鈴木享	(生理学講座統合生理学分野(医))	1,170,000円
牛島弘雅	(薬学部 薬科学講座分析化学分野)	910,000円
馬場誠朗	(医学部 外科学講座)	325,000円
柳谷千枝子	(教養教育センター 外国語学科英語分野)	650,000円
中牟田祥子	(生理学講座病態生理学分野(歯))	910,000円
村嶋亜紀	(解剖学講座人体発生学分野(医))	2,340,000円
前沢千早	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)	2,210,000円
菅井有	(医学部 病理診断学講座)	1,430,000円
高橋義彦	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	2,210,000円
大塚耕太郎	(医学部 神経精神科学講座)	1,170,000円
別府高明	(医学部 脳神経外科学講座)	1,430,000円
石田大	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	390,000円
齋木宏文	(医学部 小児科学講座)	2,210,000円
村木靖	(微生物学講座感染症学・免疫学分野(医))	1,690,000円
大塚幸喜	(医学部 外科学講座)	1,690,000円
岩谷岳	(医学部 外科学講座)	1,690,000円
駒切洋	(生理学講座統合生理学分野(医))	1,950,000円
杉山育美	(薬学部 医療薬科学講座創剤学分野)	1,690,000円
赤松洋祐	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
松田豪	(医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	2,340,000円
加藤陽一郎	(医学部 泌尿器科学講座)	1,560,000円
福島明宗	(医学部 臨床遺伝学科)	3,640,000円
石崎明	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	1,690,000円
衣斐美歩	(病理学講座病態解析学分野(歯))	1,040,000円
石河太知	(微生物学講座分子微生物学分野(歯))	1,690,000円
帖佐直幸	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	1,040,000円
武本真治	(医療工学講座(歯))	1,820,000円
島崎伸子	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,040,000円
佐藤泰生	(病理学講座病態解析学分野(歯))	2,340,000円
間山寿代	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,170,000円
大橋祐生	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	780,000円
須藤洋一	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	1,560,000円
藤田友嗣	(医学部 救急・災害・総合医学講座救急医学分野)	975,000円
塚本恭正	(看護学部 看護専門基礎講座)	1,040,000円
秋山智弥	(看護学部 共通基盤看護学講座)	1,430,000円
松浦誠	(薬学部 臨床薬学講座地域医療薬学分野)	1,040,000円

Ⅲ 学事の概要

岩 渕 光 子	(看護学部 地域包括ケア講座)	2,080,000円
遠 藤 龍 人	(看護学部 看護専門基礎講座)	390,000円
下 沖 収	(医学部 救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野)	1,560,000円
田 島 吾 郎	(医学部 整形外科科学講座)	1,040,000円
佐々木 章	(医学部 外科学講座)	1,105,000円
諏訪部 章	(医学部 臨床検査医学講座)	1,170,000円
②挑戦的研究(萌芽)	1件	1,170,000円
志 賀 清 人	(医学部 頭頸部外科学科)	1,170,000円
③若手研究(B)	1件	1,170,000円
菊 池 恵美子	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,170,000円
④若手研究	44件	50,830,000円
小 卷 翔 平	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	910,000円
永 塚 真	(医学部 病理診断学講座)	260,000円
杉 本 亮	(医学部 病理診断学講座)	520,000円
三 上 貴 浩	(解剖学講座人体発生学分野(医))	910,000円
山 下 典 生	(医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	520,000円
南 波 孝 昌	(医学部 脳神経外科学講座)	130,000円
野 里 同	(看護学部 共通基盤看護学講座)	780,000円
西 村 行 秀	(医学部 リハビリテーション医学科)	260,000円
阿 部 博 和	(教養教育センター 生物学科)	1,560,000円
高 橋 宏 彰	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	520,000円
横 山 拓 矢	(解剖学講座細胞生物学分野(医))	1,170,000円
藤 田 融	(薬学部 生物薬学講座神経科学分野)	1,560,000円
冢 子 義 朗	(医学部 放射線腫瘍学科)	2,080,000円
佐 浦 宏 明	(医学部 脳神経外科学講座)	2,340,000円
角 田 加奈子	(医学部 皮膚科学講座)	1,300,000円
加 藤 廉 平	(医学部 泌尿器科学講座)	910,000円
及 川 かおり	(医学部 耳鼻咽喉科学講座)	1,170,000円
中 里 茉那美	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	1,170,000円
太 田 麻衣子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野)	910,000円
小 松 祐 子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	910,000円
横 田 聖 司	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	1,040,000円
佐 藤 俊 郎	(歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)	1,040,000円
藤 澤 美 穂	(教養教育センター 人間科学科心理学・行動科学分野)	780,000円
開 勇 人	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,690,000円
及 川 公 樹	(医学部 脳神経外科学講座)	1,690,000円
川 村 花 恵	(医学部 産婦人科学講座)	780,000円
吉 田 純	(医学部 脳神経外科学講座)	1,820,000円
村 上 寿 孝	(医学部 脳神経外科学講座)	2,470,000円
鈴 木 彰 子	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	780,000円
二 宮 亮	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	2,080,000円
鍵 谷 忠 慶	(解剖学講座機能形態学分野(歯))	2,210,000円
鈴 木 悠 地	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,300,000円
前 川 滋 克	(医学部 泌尿器科学講座)	520,000円
東 修 智	(医学部 形成外科学講座)	1,820,000円
熊 上 深 香	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	1,040,000円
滝 沢 尚 希	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	650,000円
横 田 潤	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	780,000円
菅 原 志 帆	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,820,000円
高 橋 宗 康	(医学教育学講座医学教育学分野(医))	2,340,000円
秋 山 直 美	(医学部 医療安全学講座)	1,300,000円
小田切 崇	(微生物学講座感染症学・免疫学分野(医))	1,300,000円
小野寺 直 人	(医学部 臨床検査医学講座)	390,000円
藤 澤 純 子	(看護学部 共通基盤看護学講座)	1,040,000円
伊 藤 由 香	(看護学部 成育看護学講座)	260,000円
⑤研究活動スタート支援	3件	4,030,000円
開 勇 人	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,430,000円
池 崎 晶二郎	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	1,300,000円
高 梨 信 之	(衛生学公衆衛生学講座(医))	1,300,000円

⑥独立基盤形成支援	1件	1,950,000円
岩谷 岳 (医学部 外科学講座)		1,950,000円

(4) 学術研究助成基金助成金 (学外分担)

①基盤研究 (C)	23件	3,614,000円
大塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)		130,000円
弘瀬 雅教 (薬学部 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野)		260,000円
原田 英光 (解剖学分野発生生物・再生医学分野 (歯))		130,000円
入江 太朗 (病理学講座病態解析学分野 (歯))		130,000円
西谷 直之 (薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)		130,000円
松政 正俊 (教養教育センター 生物学科)		260,000円
大塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)		260,000円
金杉 知宣 (医学部 産婦人科学講座)		390,000円
佐々木 実 (微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		65,000円
下山 佑 (微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		65,000円
下山 佑 (微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		39,000円
佐々木 実 (微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		39,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		26,000円
原田 英光 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		52,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		325,000円
須藤 洋一 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		130,000円
琵琶坂 仁 (法科学講座法医学分野 (医))		312,000円
三宅 美智 (看護学部 地域包括ケア講座)		156,000円
西村 行秀 (医学部 リハビリテーション医学科)		325,000円
三又 義訓 (医学部 整形外科科学講座)		65,000円
多田 広志 (医学部 整形外科科学講座)		65,000円
森川 和政 (歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)		130,000円
遊田 由希子 (看護学部 成育看護学講座)		130,000円
②挑戦的研究 (萌芽)	4件	975,000円
遠藤 寿一 (教養教育センター 人間科学科哲学分野)		195,000円
馬場 長 (医学部 産婦人科学講座)		130,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		390,000円
原田 英光 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		260,000円
③国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	1件	520,000円
小田切 崇 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		520,000円

4. 厚生労働科学研究費補助金 18件 107,182,000円

(1) 行政推進調査事業費補助金 (代表)

①健康安全・危機管理対策総合研究事業	
坂田 清美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))	82,632,000円

(2) 行政推進調査事業費補助金 (分担)

①肝炎等克服政策研究事業	
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	500,000円
②腎疾患政策研究事業	
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	500,000円

(3) 科学研究費補助金 (代表)

①長寿科学政策研究事業	
西村 行秀 (医学部 リハビリテーション医学科)	4,000,000円

(4) 科学研究費補助金 (分担)

①難治性疾患等政策研究事業	
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	300,000円
石垣 泰 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	200,000円
佐藤 宏昭 (医学部 耳鼻咽喉科学講座)	500,000円
古山 和道 (生化学講座分子医化学分野 (医))	400,000円

Ⅲ 学事の概要

松 本 主 之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)	1,450,000円
松 本 主 之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)	300,000円
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	700,000円
②腎疾患政策研究事業	
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	900,000円
③肝炎等克服政策研究事業	
宮 坂 昭 生 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,000,000円
④エイズ対策政策研究事業	
吉 野 直 人 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	10,000,000円
⑤循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	
坂 田 清 美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))	750,000円
⑥障害者政策総合研究事業	
大 塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)	1,950,000円
⑦厚生労働科学特別研究事業	
大 塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)	700,000円

(5) 労災疾病臨床研究事業費補助金(労災疾病臨床研究事業)(分担)	
黒 坂 大次郎 (医学部 眼科学講座)	400,000円

5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 24件 46,135,037 円

(1) 委託事業 (分担)	
①臨床研究・治験推進研究事業	
伊 藤 薫 樹 (医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)	2,000,000円
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	1,690,000円
高 橋 史 朗 (教養教育センター 情報科学科医用工学分野)	650,000円
②免疫アレルギー疾患等実用化研究事業	
松 本 主 之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)	650,000円
③難治性疾患実用化研究事業	
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	5,200,000円
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	390,000円
④長寿・障害総合研究事業	
前 田 哲 也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	18,000,000円
⑤戦略的国際脳科学研究推進プログラム	
佐々木 真 理 (いわて東北メディカル・メガバンク機構)	5,200,000円
⑥成育疾患克服等総合研究事業	
清 水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	910,000円
⑦腎疾患実用化研究事業	
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	195,000円
⑧新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	
高 橋 史 朗 (教養教育センター 情報科学科 医用工学分野)	650,000円
高 橋 史 朗 (教養教育センター 情報科学科 医用工学分野)	130,000円
⑨再生医療実用化研究事業	
小 山 耕太郎 (医学部 小児科学講座)	208,000円
⑩橋渡し研究戦略的推進プログラム	
駒 野 宏 人 (薬学部 生物薬学講座神経科学分野)	363,637円
⑪感染症実用化研究事業	
滝 川 康 裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,170,000円
⑫革新的先端研究開発支援事業	
前 田 哲 也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	4,290,000円
⑬革新的がん医療実用化研究事業	
馬 場 長 (医学部 産婦人科学講座)	390,000円
秋 山 有 史 (医学部 外科学講座)	260,000円
別 府 高 明 (医学部 脳神経外科学講座)	260,000円
櫻 庭 実 (医学部 形成外科学講座)	260,000円
清 水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	1,300,000円

⑭医療研究開発革新基盤創成事業	
高橋 史朗 (教養教育センター 情報科学科 医用工学分野)	413,400円
⑮医薬品等規制調和・評価研究事業	
嶋 森 好子 (看護学部 共通基盤看護学講座)	455,000円
⑯ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業先端ゲノム研究開発	
佐々木 真理 (いわて東北メディカル・メガバンク機構)	1,100,000円

6. その他公的機関受託研究等 12件 38,524,502円

(1) 独立行政法人日本学術振興会 (代表)	
①二国間交流事業 (中国との共同研究 (NSFC))	
長谷川 豊 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	1,425,000円
(2) 国立がん研究センター (分担)	
①多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究	
坂田 清美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))	3,000,000円
②分子疫学コンソーシアムを活用したがんの原因究明に資する確固たるエビデンスの構築	
清水 厚志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	2,000,000円
(3) 岩手県 (分担、代表)	
①いわて戦略的研究開発推進事業 (応用ステージ) (分担)	
岸 光男 (歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)	630,678円
②いわて戦略的研究開発推進事業 (可能性試験ステージ) (代表)	
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))	923,639円
③いわて戦略的研究開発推進事業 (シーズ育成ステージ) (代表)	
西塚 哲 (医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	2,986,800円
(4) 環境再生保全機構 (代表)	
①環境研究総合推進費 革新型研究開発若手枠	
阿部 博和 (教養教育センター 生物学科)	5,379,199円
(5) 農林水産技術会議 (農林水産省事業) (分担)	
①農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究「脱炭素・環境対応プロジェクト」	
松政 正俊 (教養教育センター 生物学科)	967,270円
(6) 厚生労働省 (代表)	
①障害者総合福祉推進事業	
大塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)	14,500,000円
(7) 青森県 (代表)	
①青森県量子科学センター委託研究事業	
小林 正和 (医学部 脳神経外科学講座)	1,918,770円
寺崎 一典 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)	1,826,567円
佐々木 敏秋 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)	2,966,579円

Ⅲ 学事の概要

7. 解剖体慰霊祭および解剖体数

解剖体慰霊祭を令和2年6月27日（土）に矢巾キャンパス大堀記念講堂で行いました。

- （１）慰霊祭の対象者数：病理解剖 28 霊、正常解剖 67 霊、実践的手術手技向上研修 10 霊
（２）本年度の解剖体数：病理解剖 26 体、正常解剖 73 体、実践的手術手技向上研修 9 体

8. 白寿会員数

- （１）会員数（生存者）
令和2年度入会者 78人（総会員数1,432人）
（２）献体者数
令和2年度献体者 73人（総献体者数1,815人）

9. 海外出張者数（延べ人数）

医学部	0人
歯学部	0人
薬学部	0人
看護学部	0人
教養教育センター	0人

10. 国家試験成績

学 校	学部・学科等	国 家 試 験	受 験 者 (新卒) [既卒]	合 格 者 (新卒) [既卒]	合 格 率 (新卒) [既卒]	全国平均 (新卒) [既卒]
岩手医科大学	医学部	第115回医師国家試験 実施：令和3年2月6日～7日 発表：令和3年3月16日	154名 (142名) [12名]	138名 (132名) [6名]	89.6% (93.0%) [50.0%]	91.4% (94.4%) [54.5%]
		第114回歯科医師国家試験 実施：令和3年1月30日～31日 発表：令和3年3月16日	71名 (53名) [18名]	45名 (43名) [2名]	63.4% (81.1%) (11.1%)	64.6% (80.2%) [36.9%]
		第106回薬剤師国家試験 実施：令和3年2月20日～21日 発表：令和3年3月24日	206名 (80名) [126名]	124名 (70名) [54名]	60.2% (87.5%) [42.9%]	68.7% (85.6%) [41.3%]
	看護学部	第110回看護師国家試験 実施：令和3年2月14日 発表：令和3年3月26日	93名 (93名) [-]	90名 (90名) [-]	96.8% (96.8%) [-]	90.4% (95.4%) [44.4%]
		第107回保健師国家試験 実施：令和3年2月12日 発表：令和3年3月26日	20名 (20名) [-]	20名 (20名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	94.3% (97.4%) [53.0%]
		第104回助産師国家試験 実施：令和3年2月11日 発表：令和3年3月26日	9名 (9名) [-]	9名 (9名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	99.6% (99.7%) [81.8%]
	歯科衛生学科	第30回歯科衛生士国家試験 実施：令和3年3月7日 発表：令和3年3月26日	32名 (32名) [-]	32名 (32名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	93.3% [-] [-]

IV 附属病院の概要

1. 患者数

区 分				患者数 (人)		一日平均 (人)	
				令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
入院患者	附属病院	附属病院 (医科)		265,767	265,195	773	727
		高度救命救急センター		20,911	15,676	57	43
		歯科		3,357	3,325	9	9
		小 計		290,035	284,196	839	779
	附属内丸メディカルセンター (医科)		1,760	4,243	10	12	
合 計				291,795	288,439	849	791
外来患者	附属病院	附属病院 (医科) ※いわてこどもケアセン ター含む	新来	18,279	7,543	72	28
			再来	247,931	141,312	1,004	529
			計	266,210	148,855	1,076	557
		高度救命救急センター		3,024	2,339	11	9
		歯科	新来	4,795	1,919	18	7
			再来	50,903	10,538	194	39
			計	55,698	12,457	212	46
	小 計		324,932	163,651	1,299	612	
	附属内丸メ ディカルセ ンター	医科	新来	9,633	17,789	71	67
			再来	107,287	200,038	789	749
			計	116,920	217,827	860	816
		歯科医療センター	新来	3,227	5,598	24	21
			再来	46,943	85,717	345	321
			計	50,170	91,315	369	342
		小 計		167,090	309,142	1,229	1,158
	合 計		492,022	472,793	2,528	1,770	

- ・入院患者数は在院患者数（24時現在の患者数）に退院患者数を加算した延べ患者数である。
- ・外来患者数には入院者外来数は含まない。
- ・令和元年9月21日に附属病院を移転、附属内丸メディカルセンターを開院した。
- ・令和元年度の附属病院患者数等は、移転前後の数値を合算して表示している（2～5の項目も同様）。

2. 救急患者取扱件数

区 分		令和元年度	令和2年度
附属病院	附属病院 (医科)	15,857	6,352
	高度救命救急センター	4,458	3,961
	歯科	616	397
	小 計	20,931	10,710
附属内丸メディカルセンター	医科	167	53
	歯科医療センター	17	1
	小 計	184	54
合 計		21,115	10,764

3. 分娩件数

令和元年度	令和2年度
293	286

4. アイバンク登録者数

登録者	21人(10,956人)
角膜提供者	6人(1,128人)
被角膜移植者	4人(1,414人)
() 内は総数	

5. 手術件数および死亡者数

区 分		手術件数		死亡者数	
		令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
附属病院	附属病院 (医科)	8,301	7,743	353	411
	高度救命救急センター	465	455	51	11
	歯科	335	344	0	1
	小 計	9,101	8,542	404	423
附属内丸メディカルセンター	医科	499	1,358	0	0
	歯科医療センター	0	0	0	0
	小 計	499	1,358	0	0
合 計		9,600	9,900	404	423

V 財務の概要

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、受診抑制等による医療収入の減少などが、本学の経営に大きな影響を及ぼす中、本学は教育・研究・医療の活性化と質的向上を目指し、各事業を推進しました。

病院移転後の医療収入減少を最小限に留めるよう努め、補助金や研究費などの外部資金の積極的な獲得を図り、財政基盤の更なる強化に努めました。

事業活動収入合計は前年度より約17億円増加の522億7,793万円を計上しました。主な増加要因は、医療収入が前年度より約13億円増加の357億5,343万円、補助金収入が前年度より約8億円増加の53億6,546万円を計上したことが挙げられます。補助金収入は、経常費等補助金が増収となった一方、施設設備補助金が約4億円減少し施設設備補助金合計で7億3,535万円を計上しました。

事業活動支出合計は、前年度より約3億円減少の567億3,846万円を計上しました。主な減少要因としては、消耗品費が前年度より約8億円減少の8億8,664万円を計上したこと、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う学会等各種行事の中止による旅費及び交通運搬費の減少が挙げられます。

以上により、当期決算は、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約20億円増加の△44億6,052万円となり、矢巾新附属病院関連等の基本金組入額△5億5,925万円を計上したことにより、当年度収支差額は△50億1,977万円となりました。

1. 事業活動収支

(1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額522億7,793万円は、前年度比16億5,980万円（3.3%）増加、予算比では8億3,690万円（1.6%）下回りました。

区分別では、教育活動収入合計514億2,401万円は前年度比23億3,275万円（4.8%）増加、教育活動外収入合計417万円は前年度比74万円（15.1%）減少、特別収入合計8億4,975万円は前年度比6億7,220万円（44.2%）減少しました。

- ① 学生生徒等納付金79億6,217万円は、前年度比1億6,784万円（2.1%）減少しました。主な減少要因は、学生数減少ならびに岩手看護短期大学の閉学によるものです。

各学部等の内訳は次のとおりです。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
授業料	20億 7,372 万円	8億 8,436 万円	6億 7,845 万円	3億 6,575 万円
入学金	3億 7,450 万円	4,260 万円	1,645 万円	2,750 万円
実験実習費	4億 235 万円	363 万円	9,785 万円	5,986 万円
教育充実費	10億 3,900 万円	3億 4,360 万円	—	—
施設整備費	8億 2,290 万円	3億 4,800 万円	2億 740 万円	9,150 万円
計	47億 1,247 万円	16億 2,219 万円	10億 15 万円	5億 4,461 万円
	医療専門学校	計		
授業料	4,950 万円	40億 5,178 万円		
入学金	850 万円	4億 6,955 万円		
実験実習費	2,475 万円	5億 8,844 万円		
教育充実費	—	13億 8,260 万円		
施設整備費	—	14億 6,980 万円		
計	8,275 万円	79億 6,217 万円		

②医療収入 357 億 5,343 万円は、前年度比 12 億 7,742 万円（3.7%）増加しました。

附属病院（医科）、内丸メディカルセンター（医科）を合計した医科部門の医療収入は前年度比 12 億 899 万円（3.6%）の増加、附属病院（歯科）、内丸メディカルセンター（歯科）を合計した歯科部門の医療収入は前年度比 6,844 万円（6.7%）の増加となりました。

病院別の医療収入内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
入院収入	238億 1,514 万円	1億 9,888 万円	4億 5,594 万円	—	244億 6,996 万円
外来収入	60億 1,990 万円	7,120 万円	41億 3,643 万円	8億 1,617 万円	110億 4,370 万円
その他の医療収入	1億 9,052 万円	228 万円	4,580 万円	117 万円	2億 3,977 万円
計	300億 2,556 万円	2億 7,236 万円	46億 3,817 万円	8億 1,734 万円	357億 5,343 万円

③補助金合計額は、53 億 6,546 万円の前年度比 7 億 9,596 万円（17.4%）増加しました。

区分別では、教育活動収入の経常費等補助金 46 億 3,011 万円は前年度比 12 億 2,310 万円（35.9%）増加し、国庫補助金として私立大学等経常費補助金 18 億 5,723 万円、医療研究開発推進事業費補助金（いわて東北メディカル・メガバンク機構）6 億 679 万円等、地方公共団体補助金として入院施設等確保事業費補助金（空床確保事業）6 億 8,648 万円、高度救命救急センター運営費補助金 2 億 5,619 万円等がありました。

特別収入の施設設備補助金 7 億 3,535 万円は前年度比 4 億 2,714 万円（36.7%）減少し、地方公共団

体補助金として緊急包括支援事業（入院医療機関設備整備事業）（岩手県）3億1,314万円、臨床研修医等宿舎整備費補助金（岩手県）1億円等がありました。

（２）事業活動支出

事業活動支出の合計額 567億3,846万円は、前年度比 3億446万円（0.5%）減少、予算比では 2,994万円（0.1%）下回りました。

区分別では、教育活動支出合計 556億1,237万円は前年度比 2億9,763万円（0.5%）減少、特別支出合計 10億4,808万円は前年度比 1,912万円（1.8%）減少しました。

教育活動外支出は、7,800万円を計上しました。

①人件費 228億5,313万円は、前年度比 3億683万円（1.4%）増加しました。

給与、賞与、所定福利費の合計 214億3,938万円は、前年度比 5,199万円（0.2%）増加し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計 13億5,496万円は、前年度比 2億5,497万円（23.2%）増加しました。

②医療経費 161億2,404万円は、前年度比 6億873万円（3.9%）増加しました。

医薬品費は、前年度比 1億3,941万円（1.7%）の増加、医療材料費は 4億7,319万円（6.5%）の増加、給食材料費は 388万円（1.8%）減少しました。

医療収入に対する医療経費割合は 45.1%となり、前年度より 0.1%増加しました。

病院別の医療経費内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
医薬品費	62億4,437万円	1,045万円	18億9,888万円	695万円	81億6,065万円
(対医療収入比)	(20.8%)	(3.9%)	(40.9%)	(0.9%)	(22.8%)
医療材料費	69億4,720万円	517万円	6億3,225万円	1億6,291万円	77億4,753万円
(対医療収入比)	(23.1%)	(1.9%)	(13.6%)	(19.9%)	(21.7%)
給食材料費	2億946万円	306万円	334万円	—	2億1,586万円
(対医療収入比)	(0.7%)	(1.1%)	(0.1%)	—	(0.6%)
計	134億103万円	1,868万円	25億3,447万円	1億6,986万円	161億2,404万円
(対医療収入比)	(44.6%)	(6.9%)	(54.6%)	(20.8%)	(45.1%)

③消耗品費 8億8,664万円は、前年度比 7億5,106万円（45.9%）減少しました。

④光熱水費は、重油料 2億5,858万円、ガス料 2億8,915万円、電気料 6億7,922万円、水道料 1億4,401万円、合計 13億7,096万円となり前年度比 1億2,916万円（8.6%）減少しました。

⑤修繕費は、施設修繕費 2億2,055万円、機器備品修繕費 1億6,275万円、合計 3億8,330万円となり前年度比 5億7,302万円（59.9%）減少しました。

- ⑥業務委託費 56 億 1,036 万円は、前年度比 7 億 8,910 万円（16.4%）増加しました。
- 病院別では、附属病院（医科）32 億 2,996 万円、附属病院（歯科）811 万円、内丸メディカルセンター（医科）9 億 4,797 万円、内丸メディカルセンター（歯科）1 億 4,986 万円、その他 12 億 7,446 万円です。
- ⑦福利費 2 億 3,720 万円は、学生福利費 2,137 万円、職員福利費 2 億 1,583 万円であり、健康診断経費等です。
- ⑧減価償却額 58 億 4,124 万円は、前年度より 9 億 6,618 万円増加しました。
- ⑨公租公課 2 億 515 万円は、消費税 1 億 3,171 万円、法人税・事業税 2,139 万円、固定資産税・都市計画税 3,747 万円等です。
- ⑩借入金利息により 7,800 万円を計上しました。
- ⑪資産処分差額 2 億 3,108 万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

2. 資本収支

（1）資産の部

- ①施設関係支出 4 億 4,280 万円は、臨床研修医宿舎等建設による建物 4 億 1,832 万円等です。
- ②設備関係支出 140 億 539 万円は、教育研究用機器備品 135 億 9,375 万円等です。
- ③第 2 号基本金引当特定資産は、総合移転整備事業資金として 2 億円を積み立てました。
- ④貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 8 億 6,544 万円、歯科貴金属 835 万円、合計 8 億 7,379 万円です。

（2）負債、純資産の部

- ①退職給与引当金残高 135 億 2,246 万円のうち 81 億 7,436 万円は、平成 23 年度から 10 年間毎年度均等に繰り入れている退職給与引当金特別繰入額の累積額です。
- ②前受金残高 14 億 4,837 万円は、令和 3 年度入学生の学生生徒等納付金等です。
- ③預り金残高 6 億 6,872 万円は、源泉所得税 5,594 万円、県市町村民税 1 億 721 万円、私学共済掛金 1 億 4,887 万円等です。
- ④基本金は 5 億 5,925 万円を組入れし、1,333 億 7,848 万円となりました。
- ⑤当年度収支差額△50 億 1,977 万円と前年度繰越収支差額△432 億 6,205 万円を合計した翌年度繰越収支差額は、△482 億 8,183 万円となりました。
- ⑥純資産の部合計（基本金+繰越収支差額）は、前年度より 44 億 6,052 万円減少し、850 億 9,666 万円となりました。
- ⑦令和 2 年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は 850 億 9,666 万円です。

※各科目の説明等は 56 ページ以降に記載しています。

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

(1) 経営状況の分析

日本私立学校振興・共済事業団が公表している「定量的な経営判断指標に基づく経営状況区分（※）」に当期決算を当てはめた結果、イエローゾーン（経営上看過できない兆候が見られるが、学校法人自ら経営改革努力を行うことにより経営改善が可能な状態）の予備的段階である「B0」区分に該当します。

令和2年度においては新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う受診抑制等により、昨年度に引き続き当年度収支差額がマイナスとなりましたが、新たに開院した矢巾附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの資産を最大限活用していくことで資金収支上は順調に資金を確保していくことが可能な状態です。

※定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

教育研究活動のキャッシュフローを基礎に、外部負債と運用資産の状況により学校法人の経営状態を区分したものです。A1～D3の14区分のうち、A3以上が正常な経営状態となります。

(2) 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

昨年来より、思いもかけない新型コロナ禍が世界を襲い、患者数・医療収入が大きく減少し、大学を取り巻く経営状況は極めて厳しいものとなっています。

しかしながら、大学附属病院移転後より着実に増加傾向で推移しており、今後も安定した医療収入の更なる増収等を図るとともに、コストを削減していくことが必要です。

また、近年の社会情勢は、大学の増加や少子化の影響により、大学淘汰の時代が到来しています。医・歯・薬・看護学部を有する医療系総合大学として教育研究の更なる発展と大学の社会的責任を遂行するためには、入学定員充足による学生生徒納付金の確保が不可欠です。

これらを踏まえ、内丸メディカルセンター新棟の早期建設に向けた積立計画を着実に実行し、財政基盤の堅持に努めてまいります。

4. 令和2年度事業活動収支計算書

<収入の部>			<支出の部>			(単位:千円)	
区 分	科 目	金 額		科 目	金 額		
教育活動収支	1. 学 生 生 徒 等 納 付 金	7,962,169	1. 人 件 費		22,853,127		
	(1) 授 業 料	4,051,781	(1) 教 員 人 件 費		5,955,463		
	(2) 入 学 金	469,550	(2) 職 員 人 件 費		15,483,914		
	(3) 実 験 実 習 費	588,438	(3) 役 員 報 酬		58,790		
	(4) 教 育 充 実 費	1,382,600	(4) 退 職 金		146,410		
	(5) 施 設 整 備 費	1,469,800	(5) 退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額		1,208,550		
	2. 手 数 料	167,005	2. 諸 経 費		32,759,246		
	3. 医 療 収 入	35,753,428	(1) 医 療 経 費		16,124,037		
	(1) 入 院 収 入	24,469,961	(2) 消 耗 品 費		886,637		
	(2) 外 来 収 入	11,043,696	(3) 光 熱 水 費		1,370,955		
	(3) そ の 他 の 医 療 収 入	239,771	(4) 旅 費		27,289		
	4. 寄 付 金	726,801	(5) 印 刷 製 本 費		116,912		
	(1) 特 別 寄 付 金	339,007	(6) 通 信 費		107,231		
	(2) 一 般 寄 付 金	384,257	(7) 交 通 運 搬 費		57,656		
	(3) 現 物 寄 付	3,537	(8) 洗 濯 費		67,417		
	5. 経 常 費 等 補 助 金	4,630,109	(9) 修 繕 費		383,301		
	(1) 私立大学等経常費補助金	1,857,226	(10) 諸 会 費		78,444		
	(2) その他の国庫補助金	878,457	(11) 賃 借 料		646,114		
	(3) 地方公共団体補助金	1,894,426	(12) 業 務 委 託 費		5,610,364		
	6. 付 随 事 業 収 入	1,207,115	(13) 福 利 費		237,203		
	(1) 補助活動収入	158,656	(14) 減 価 償 却 額		5,841,242		
	(2) 受託事業収入	1,001,545	(15) 公 租 公 課		205,152		
	(3) 附属事業収入	20,438	(16) そ の 他		999,292		
	(4) 保育料等収入	26,476					
	7. 雑 収 入	977,384					
		A 教育活動収入計	51,424,011		E 教育活動支出計	55,612,373	
教育活動外収支	8. 受 取 利 息 配 当 金	4,171	3. 借 入 金 等 利 息		78,000		
	B 教育活動外収入計	4,171	F 教育活動外支出計		78,000		
特別収支	9. 資 産 売 却 差 額	23,428	4. 資 産 処 分 差 額		231,082		
	10. そ の 他 の 特 別 収 入	826,322	5. そ の 他 の 特 別 支 出		817,000		
	(1) 施設設備寄付金	52,680	(1) 退職給与引当金特別繰入額		817,000		
	(2) 施設設備現物寄付	38,236	(2) 過 年 度 修 正 額		0		
	(3) 施設設備補助金	735,346					
	(4) 過 年 度 修 正 額	60					
	C 特別収入計	849,750	G 特別支出計		1,048,082		
	D 事業活動収入計	52,277,932		H 事業活動支出計	56,738,455		

① 教育活動収支差額(A-E)	△ 4,188,362	⑥ 基本金組入額合計	△ 559,250
② 教育活動外収支差額(B-F)	△ 73,829	⑦ 当年度収支差額(⑤+⑥)	△ 5,019,773
③ 経常収支差額(①+②)	△ 4,262,191	⑧ 前年度繰越収支差額	△ 43,262,054
④ 特別収支差額(C-G)	△ 198,332	⑨ 翌年度繰越収支差額(⑦+⑧)	△ 48,281,827
⑤ 基本金組入前当年度収支差額(D-H)	△ 4,460,523		

5. 令和2年度資金収支計算書

＜収入の部＞		＜支出の部＞		(単位:千円)
科 目	金 額	科 目	金 額	
1. 学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	7,962,169	1. 人 件 費 支 出	22,793,900	
2. 手 数 料 収 入	167,005	(1) 教 員 人 件 費 支 出	5,955,463	
3. 寄 付 金 収 入	775,943	(2) 職 員 人 件 費 支 出	15,483,914	
(1) 特 別 寄 付 金 収 入	391,687	(3) 役 員 報 酬 支 出	58,790	
(2) 一 般 寄 付 金 収 入	384,256	(4) 退 職 金 支 出	1,295,733	
4. 補 助 金 収 入	5,365,455	2. 諸 経 費 支 出	26,895,694	
(1) 国 庫 補 助 金 収 入	2,770,713	(1) 医 療 経 費 支 出	16,144,185	
(2) 地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入	2,594,742	(2) 一 般 教 育 研 究 経 費 支 出	7,722,943	
5. 資 産 売 却 収 入	23,470	(3) 管 理 経 費 支 出	3,028,566	
6. 付 随 事 業 収 入	1,207,115	3. 借 入 金 等 利 息 支 出	78,000	
7. 医 療 収 入	35,753,428	4. 施 設 関 係 支 出	442,802	
8. 受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	4,171	(1) 建 物 支 出	418,318	
9. 雑 収 入	977,445	(2) 構 築 物 支 出	24,484	
10. 前 受 金 収 入	1,448,367	5. 設 備 関 係 支 出	1,405,385	
11. そ の 他 の 収 入	8,370,696	(1) 教 育 研 究 用 機 器 備 品 支 出	1,359,375	
(1) 前 期 末 未 収 入 金 収 入	7,679,815	(2) そ の 他 の 設 備 関 係 支 出	46,010	
(2) 預 り 金 受 入 等 収 入	690,881	6. 資 産 運 用 支 出	500,200	
12. 資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 10,409,055	7. そ の 他 の 支 出	3,660,539	
13. 前 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,381,169	(1) 前 期 末 未 払 金 支 払 支 出	2,928,090	
		(2) 預 り 金 支 払 等 支 出	732,449	
		8. 資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 3,982,515	
		9. 翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,233,373	
収 入 の 部 合 計	61,027,378	支 出 の 部 合 計	61,027,378	

6. 貸借対照表

令和3年3月31日

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	本 年 度 末	科 目	本 年 度 末
固定資産	105,453,090	固定負債	32,399,611
有形固定資産	97,096,278	長期借入金	18,845,000
土地	10,347,240	退職給与引当金	13,522,459
建物	67,372,093	長期未払金	32,152
構築物	2,935,771	流動負債	7,150,634
教育研究用機器備品	13,290,325	短期借入金	1,155,000
管理用機器備品	136,478	未払金	3,878,547
図書	2,992,144	業者未払金	3,243,304
車両	22,227	その他の未払金	635,243
特定資産	8,103,798	前受金	1,448,367
第2号基本金引当特定資産	4,400,000	授業料	415,703
第3号基本金引当特定資産	403,798	入学金	488,500
退職給与引当特定資産	2,700,000	実験実習費	62,738
償却資産引当特定資産	600,000	教育充実費	303,300
その他の固定資産	253,014	施設整備費	144,750
電話加入権	6,773	その他の前受金	33,376
敷金・保証金・預託金	1,753	預り金	668,720
有価証券	51,540	源泉徴収所得税	55,943
施設利用権	119,499	県市町村民税	107,211
奨学金	40,020	私学共済掛金	148,870
ソフトウェア	22,824	その他の預り金	356,696
貸付金	10,605	負債の部合計	39,550,245
流動資産	19,193,811	純資産の部	
現金預金	9,233,373	基本金	133,378,483
未収入金	9,009,112	繰越収支差額	△ 48,281,827
貯蔵品	873,787	純資産の部合計	85,096,656
前払金	49,293		
仮払金	28,246		
資産の部合計	124,646,901	負債及び純資産の部合計	124,646,901

注記 ・退職給与引当金の額の算定は、次のとおりです。

期末要支給額12,632,222,913円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上しています。

なお、「退職給与引当金の計上等に係る会計方針の統一について」（平成23年2月17日付け22高私参第11号文部科学省高等教育局私学部参事官通知）に基づく変更時差異8,174,360,323円については、平成23年度から毎年度均等(令和2年度までの10年間)に繰り入れています。

・減価償却額の累計額の合計額 46,349,456,732円

・翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 18,013,899,825円

7. 医療収入内訳

項 目			令和元年度決算	項 目			令和2年度決算
附属病院 （医科）	入院収入	1 日平均患者数	684 人	附属病院 （医科）	入院収入	1 日平均患者数	727 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	76,069 円 19,120,500 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	84,998 円 22,554,767 千円
	外来収入	1 日平均患者数	952 人		外来収入	1 日平均患者数	557 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	29,326 円 7,350,428 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	40,031 円 5,953,519 千円
（※附属病院（歯科） に移転前歯科医療セ ンターを含む）	入院収入	1 日平均患者数	9 人	附属病院 （歯科）	入院収入	1 日平均患者数	9 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	56,474 円 189,582 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	60,540 円 198,876 千円
循環器医療 センター	外来収入	1 日平均患者数	212 人		外来収入	1 日平均患者数	46 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	7,920 円 441,121 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	5,797 円 71,208 千円
	入院収入	1 日平均患者数	89 人	高度救命救急 センター	入院収入	1 日平均患者数	43 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	186,060 円 2,854,725 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	80,304 円 1,260,375 千円
	外来収入	1 日平均患者数	118 人		外来収入	1 日平均患者数	9 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	11,848 円 178,123 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	27,616 円 66,362 千円
高度救命救急 センター	入院収入	1 日平均患者数	57 人	内丸メディカル センター（医科）	入院収入	1 日平均患者数	12 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	66,901 円 1,398,969 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	104,096 円 455,943 千円
	外来収入	1 日平均患者数	11 人		外来収入	1 日平均患者数	816 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	26,706 円 80,759 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	18,985 円 4,136,432 千円
内丸メディカル センター（医科）	入院収入	1 日平均患者数	10 人	内丸メディカル センター（歯科）	外来収入	1 日平均患者数	342 人
		1 人 1 日平均単価 金 額	89,326 円 157,215 千円			1 人 1 日平均単価 金 額	8,938 円 816,175 千円
	外来収入	1 日平均患者数	860 人	医 療 収 入 合 計			35,513,657 千円
		1 人 1 日平均単価 金 額	16,721 円 1,955,145 千円	その他の医療収入			239,771 千円
内丸メディカル センター（歯科）	外来収入	1 日平均患者数	369 人	総 合 計			35,753,428 千円
		1 人 1 日平均単価 金 額	7,707 円 386,692 千円				
PET・ リニアック 先端医療 センター	外来収入	1 日平均患者数	6 人	注 1）各病院の入院患者数は在院患者数（24 時現在の患者数）に 退院患者数を加算した延べ患者数です。 注 2）一人一日平均診療単価は審査過誤減削減後の診療単価です。			
		1 人 1 日平均単価 金 額	126,810 円 102,336 千円				
医 療 収 入 合 計		34,215,595 千円					
その他の医療収入		260,415 千円					
総 合 計		34,476,010 千円					

注1）各病院の入院患者数は在院患者数（24時現在の患者数）に退院患者数を加算した延べ患者数です。
注2）一人一日平均診療単価は審査過誤減削減後の診療単価です。

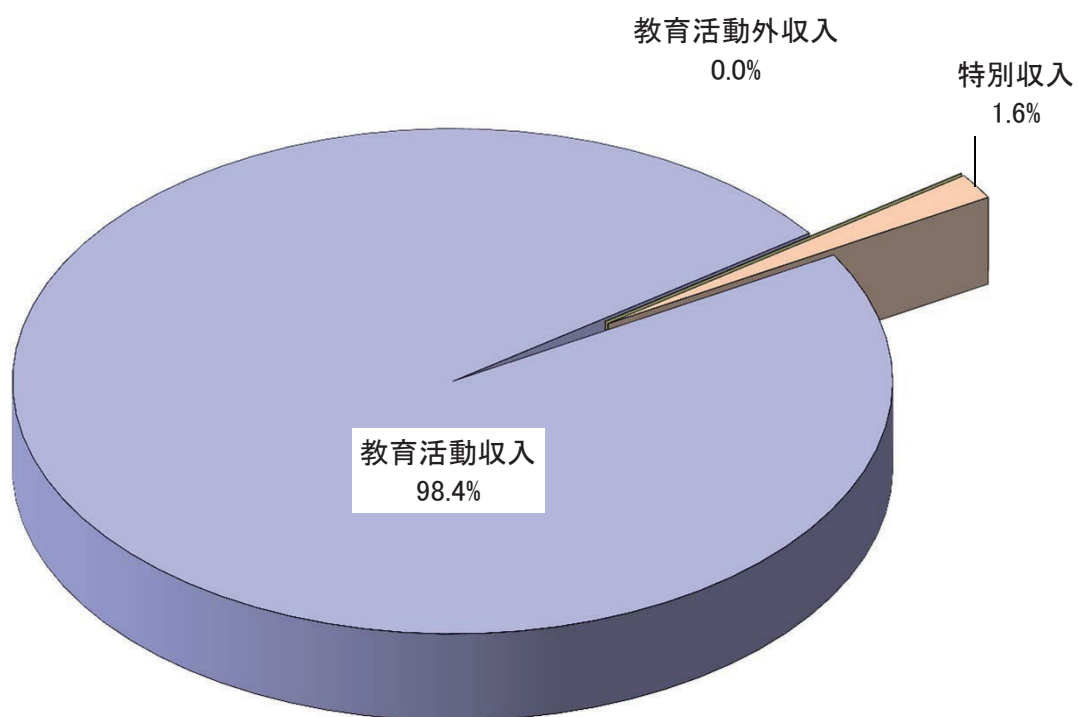
（単位：千円）

項目	令和元年度		令和2年度	
	医科	歯科	医科	歯科
入院収入	23,531,409	189,582	24,271,085	198,876
増減率（入院）	—	—	3.1%	4.9%
外来収入	9,666,791	827,813	10,156,313	887,383
増減率（外来）	—	—	5.1%	7.2%

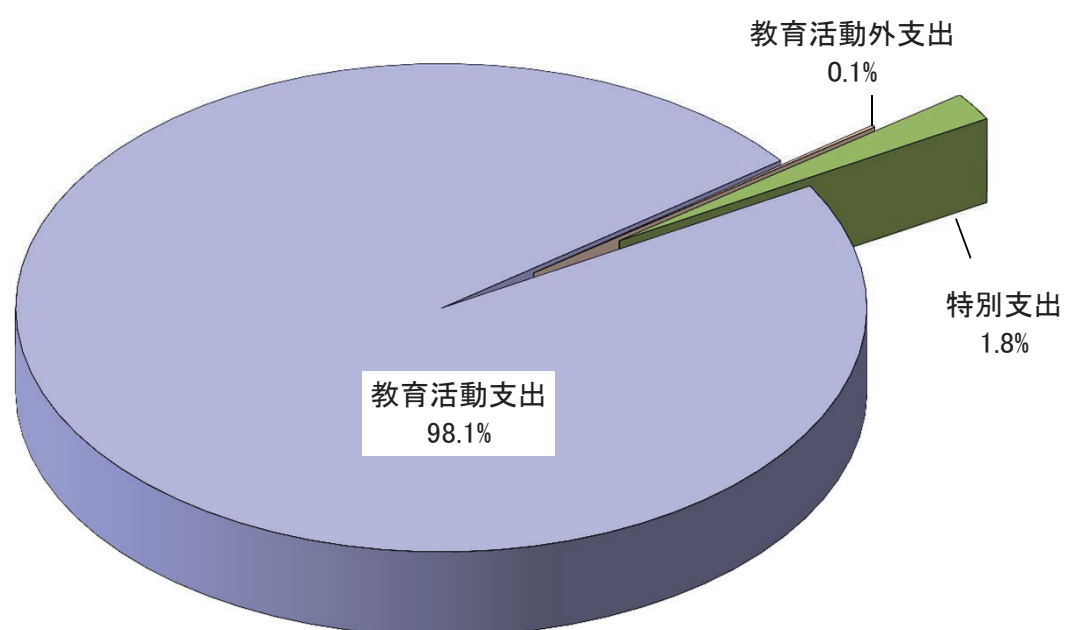
注3）増減率の医科は附属病院（医科）、循環器医療センター、高度救命救急センター、PET・リニアック先端医療センター、内丸メディカルセンター（医科）の合計です。
注4）増減率の歯科は歯科医療センター、附属病院（歯科）、内丸メディカルセンター（歯科）の合計です。

8. 令和2年度事業活動収支構成比率

〔事業活動収入〕

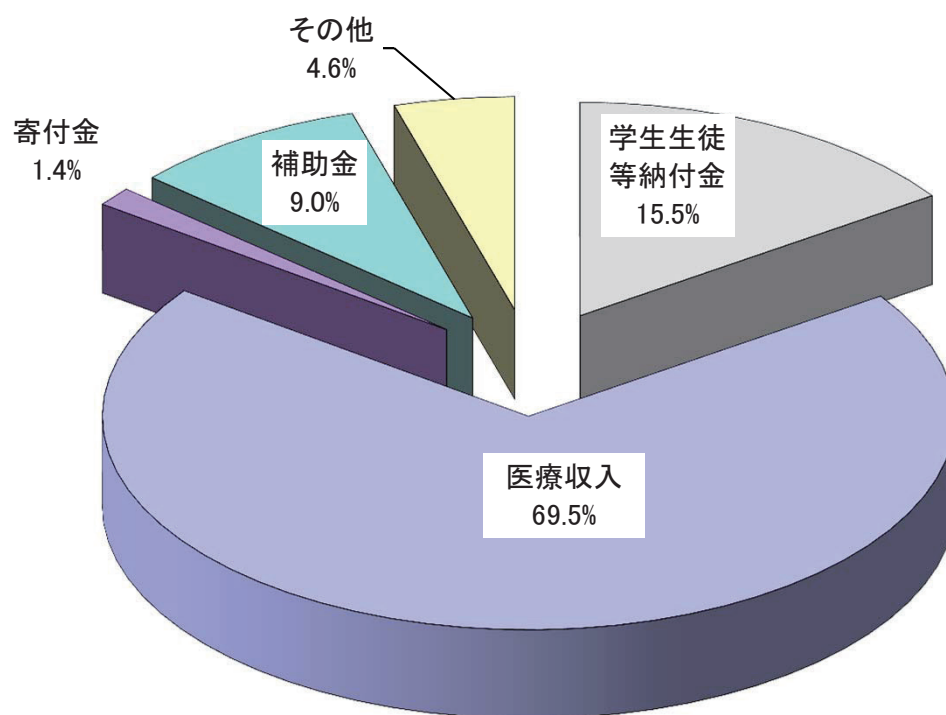


〔事業活動支出〕

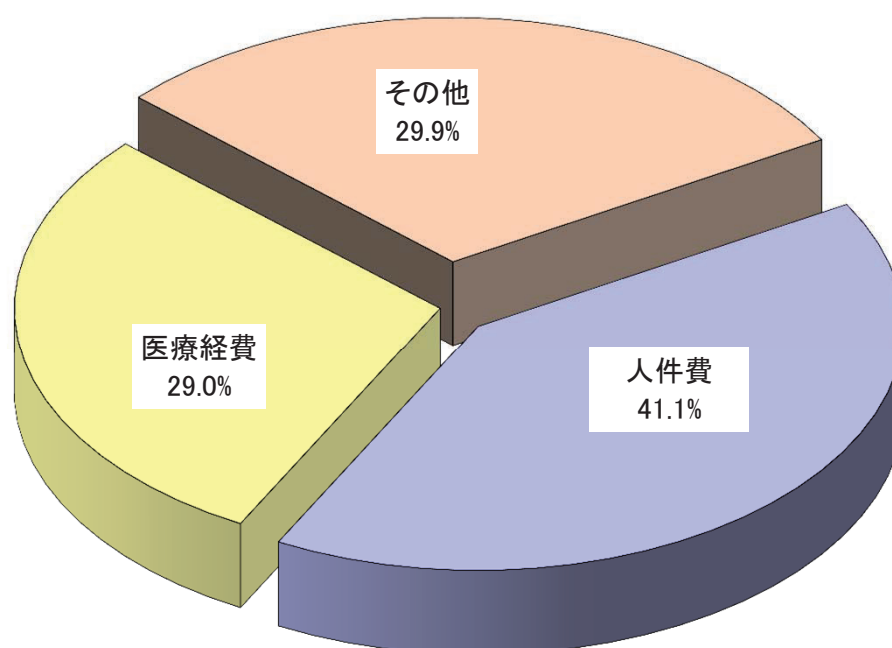


9. 令和2年度教育活動収支構成比率

〔教育活動収入〕



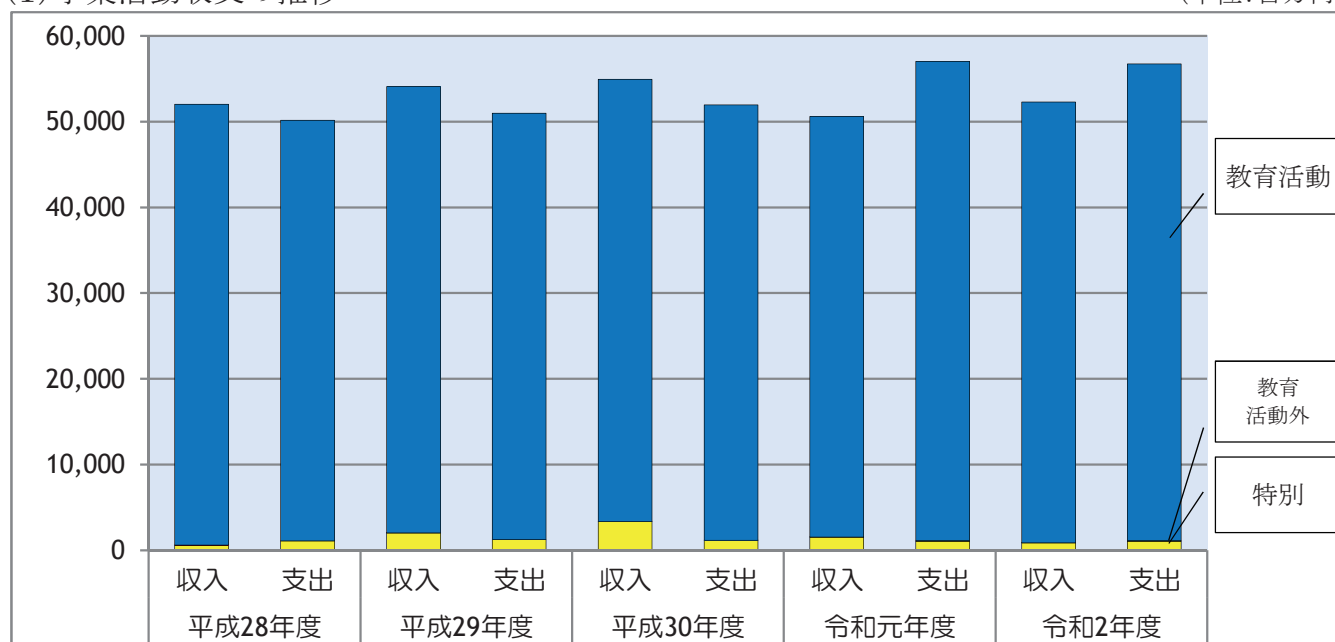
〔教育活動支出〕



10. 経年比較

(1) 事業活動収支の推移

(単位: 百万円)



< 事業活動収入 >

(単位: 百万円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動収入	51,397	52,047	51,551	49,091	51,424
教育活動外収入	31	9	7	4	4
特別収入	584	2,029	3,377	1,521	849
事業活動収入計	52,013	54,085	54,935	50,618	52,277

※百万円未満切捨てのため、合計が計算上一致しない場合があります。次ページ以降同様となります。

【構成比率】

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動収入	98.8%	96.2%	93.8%	97.0%	98.4%
教育活動外収入	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別収入	1.1%	3.8%	6.2%	3.0%	1.6%
事業活動収入計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

< 事業活動支出 >

(単位: 百万円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動支出	49,065	49,698	50,785	55,909	55,612
教育活動外支出	0	0	7	65	77
特別支出	1,091	1,277	1,174	1,067	1,048
事業活動支出計	50,156	50,975	51,967	57,042	56,738

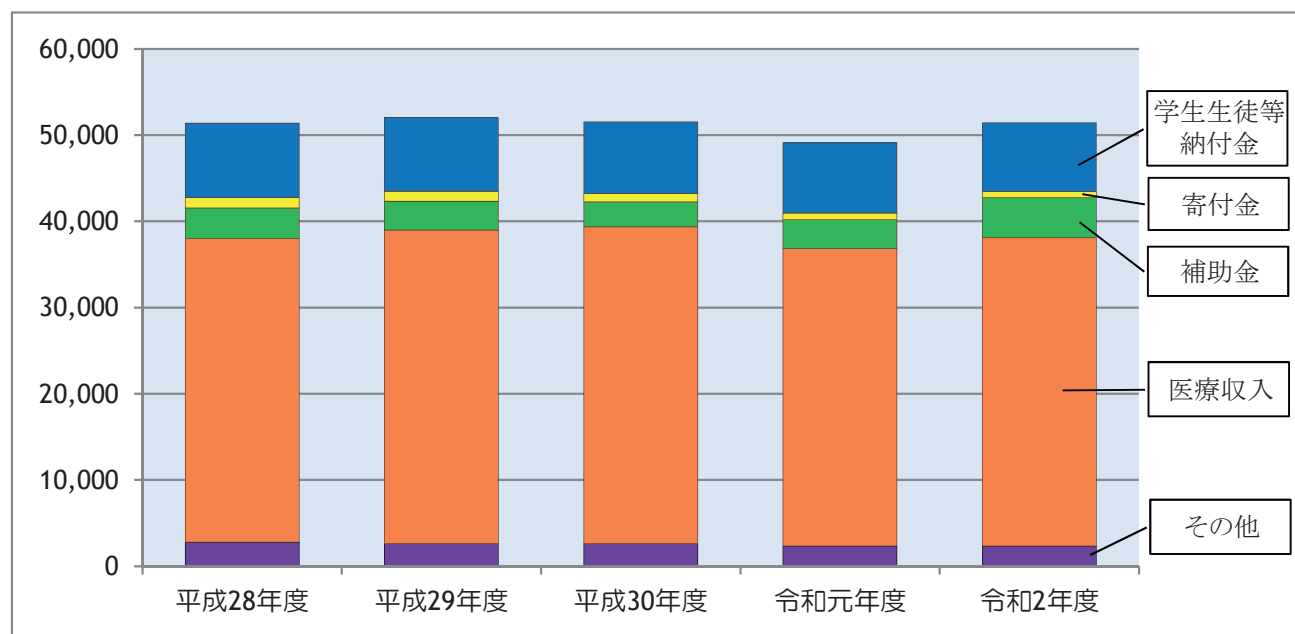
【構成比率】

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動支出	97.8%	97.5%	97.7%	98.0%	98.1%
教育活動外支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
特別支出	2.2%	2.5%	2.3%	1.9%	1.8%
事業活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 教育活動収支の推移

①教育活動収入の推移

(単位:百万円)



<教育活動収入>

(単位:百万円)

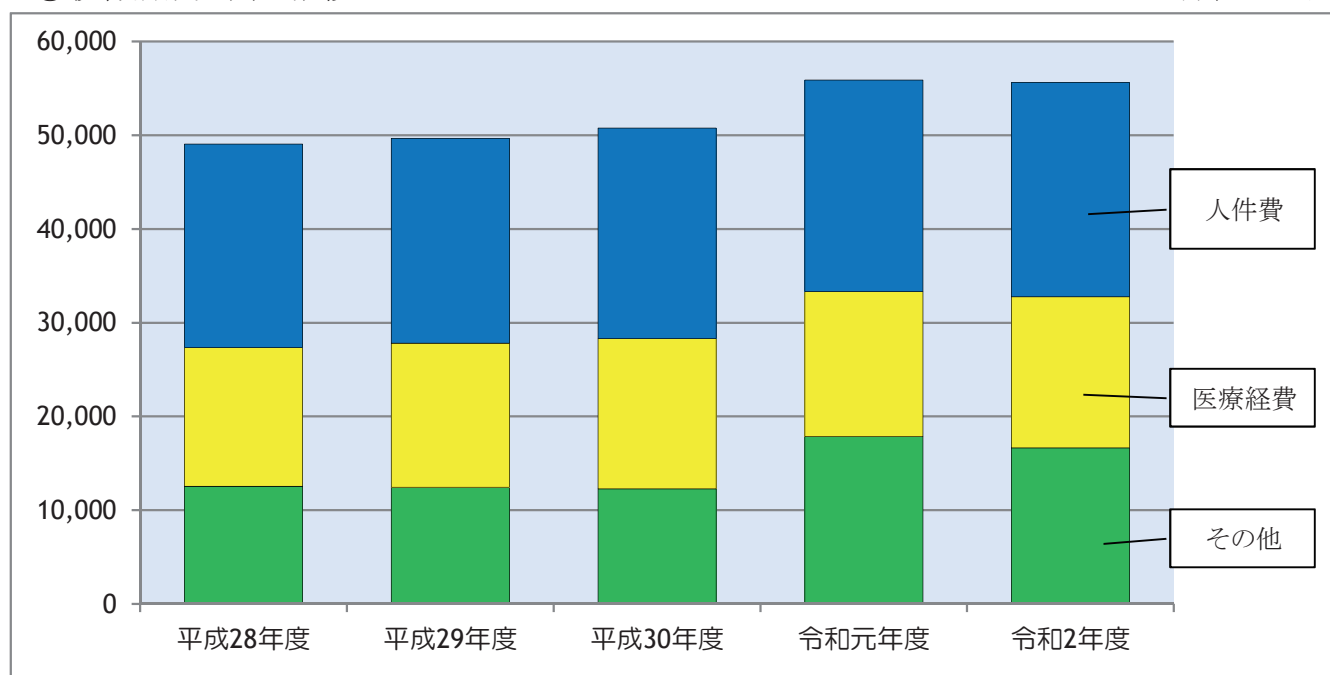
科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金	8,632	8,538	8,305	8,130	7,962
寄付金	1,220	1,162	965	730	726
経常費等補助金	3,513	3,348	2,901	3,407	4,630
付随事業収入	1,517	1,384	1,423	1,309	1,207
医療収入	35,223	36,364	36,737	34,476	35,753
雑収入他	1,289	1,249	1,218	1,038	1,144
教育活動収入合計	51,397	52,047	51,551	49,091	51,424

【構成比率】

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金	16.8%	16.4%	16.0%	16.6%	15.5%
寄付金	2.4%	2.2%	1.9%	1.5%	1.4%
経常費等補助金	6.8%	6.4%	5.6%	6.9%	9.0%
付随事業収入	3.0%	2.7%	2.8%	2.7%	2.4%
医療収入	68.5%	69.9%	71.3%	70.2%	69.5%
雑収入他	2.5%	2.4%	2.4%	2.1%	2.2%
教育活動収入合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②教育活動支出の推移

(単位:百万円)



<教育活動支出>

(単位:百万円)

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費	21,692	21,870	22,440	22,546	22,853
教育研究経費	24,735	25,237	25,716	29,273	29,211
医療経費	14,811	15,389	16,060	15,515	16,124
一般教育研究経費	9,924	9,847	9,656	13,758	13,087
管理経費	2,614	2,580	2,620	4,082	3,543
徴収不能額	22	8	7	7	4
教育活動支出計	49,065	49,698	50,785	55,909	55,612

【構成比率】

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費	44.2%	44.0%	44.2%	40.3%	41.1%
教育研究経費	50.4%	50.8%	50.6%	52.4%	52.5%
医療経費	30.2%	31.0%	31.6%	27.8%	29.0%
一般教育研究経費	20.2%	19.8%	19.0%	24.6%	23.5%
管理経費	5.3%	5.2%	5.2%	7.3%	6.4%
徴収不能額	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(3) 資金収支の推移

①収入の推移

(単位:百万円)

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金収入	8,632	8,538	8,305	8,130	7,962
寄付金収入	1,616	1,559	1,356	1,054	775
補助金収入	3,674	4,930	5,854	4,569	5,365
資産売却収入	0	0	0	3	23
付随事業収入	1,517	1,384	1,423	1,309	1,207
医療収入	35,223	36,364	36,737	34,476	35,753
受取利息・配当金収入	31	9	7	4	4
雑収入他	1,289	1,249	1,218	1,038	1,144
長期借入金収入	0	0	0	20,000	0
短期借入金収入	0	0	4,000	8,500	0
前受金収入	1,577	1,449	1,446	1,399	1,448
その他の収入	12,964	13,839	23,257	16,518	8,370
資金収入調整勘定	△ 9,174	△ 10,777	△ 12,436	△ 9,130	△ 10,409
前年度繰越支払資金	18,331	21,032	21,272	18,537	9,381
収入の部合計	75,686	79,578	92,442	106,411	61,027

【構成比率】

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金収入	11.4%	10.7%	9.0%	7.6%	13.0%
寄付金収入	2.1%	2.0%	1.5%	1.0%	1.3%
補助金収入	5.0%	6.3%	6.3%	4.3%	8.8%
資産売却収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
付随事業収入	2.0%	1.7%	1.5%	1.2%	2.0%
医療収入	46.5%	45.7%	39.8%	32.4%	58.6%
受取利息・配当金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雑収入他	1.7%	1.6%	1.3%	1.0%	1.9%
長期借入金収入	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%
短期借入金収入	0.0%	0.0%	4.3%	8.0%	0.0%
前受金収入	2.1%	1.8%	1.6%	1.3%	2.4%
その他の収入	17.1%	17.4%	25.2%	15.5%	13.7%
資金収入調整勘定	△ 12.1%	△ 13.6%	△ 13.5%	△ 8.5%	△ 17.1%
前年度繰越支払資金	24.2%	26.4%	23.0%	17.4%	15.4%
収入の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②支出の推移

(単位:百万円)

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費支出	21,797	22,054	22,552	22,389	22,793
教育研究経費支出	21,301	21,993	22,758	24,913	23,867
医療経費支出	14,901	15,408	16,072	15,808	16,144
一般教育研究経費支出	6,400	6,585	6,685	9,105	7,723
管理経費支出	2,506	2,473	2,506	3,679	3,028
借入金等利息支出	0	0	7	65	77
借入金等返済支出	0	0	0	12,500	0
施設関係支出	859	12,331	26,280	7,642	442
設備関係支出	640	2,446	763	10,645	1,405
資産運用支出	4,500	4,500	2,000	2,500	500
その他の支出	6,103	3,882	12,056	15,701	3,660
予備費	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 3,056	△ 11,375	△ 15,019	△ 3,007	△ 3,982
次年度繰越支払資金	21,032	21,272	18,537	9,381	9,233
支出の部合計	75,686	79,578	92,442	106,411	61,027

【構成比率】

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費支出	28.8%	27.7%	24.4%	21.0%	37.4%
教育研究経費支出	28.2%	27.7%	24.6%	23.4%	39.1%
医療経費支出	19.7%	19.4%	17.4%	14.9%	26.4%
一般教育研究経費支出	8.5%	8.3%	7.2%	8.5%	12.7%
管理経費支出	3.3%	3.1%	2.7%	3.5%	5.0%
借入金等利息支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
借入金等返済支出	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%	0.0%
施設関係支出	1.1%	15.5%	28.4%	7.2%	0.7%
設備関係支出	0.8%	3.0%	0.8%	10.0%	2.3%
資産運用支出	5.9%	5.7%	2.2%	2.3%	0.8%
その他の支出	8.1%	4.9%	13.0%	14.8%	6.0%
予備費	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資金支出調整勘定	△ 4.0%	△ 14.3%	△ 16.2%	△ 2.8%	△ 6.5%
次年度繰越支払資金	27.8%	26.7%	20.1%	8.8%	15.1%
支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(4) 貸借対照表の推移

①資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
固定資産	76,144	86,185	98,505	109,154	105,453
有形固定資産	53,749	64,762	88,251	101,300	97,096
土地	10,376	10,376	10,376	10,347	10,347
建物	31,792	30,362	29,313	70,092	67,372
その他の有形固定資産	11,580	24,022	48,561	20,861	19,377
特定資産	22,278	21,315	9,988	7,603	8,103
その他の固定資産	116	107	265	250	253
流動資産	29,530	31,205	30,200	18,003	19,193
現金預金	21,032	21,272	18,537	9,381	9,233
その他の流動資産	8,498	9,932	11,662	8,622	9,960
資産の部合計	105,675	117,390	128,705	127,158	124,646

②負債の推移

(単位:百万円)

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
固定負債	10,599	11,080	11,706	32,651	32,399
長期借入金	0	0	0	20,000	18,845
その他の固定負債	10,599	11,080	11,706	12,651	13,554
流動負債	5,172	13,296	21,017	4,950	7,150
短期借入金	0	0	4,000	0	1,155
その他の流動負債	5,172	13,296	17,017	4,950	5,995
負債の部合計	15,771	24,376	32,723	37,601	39,550

③純資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基本金	116,470	121,194	127,878	132,819	133,378
第1号基本金	94,368	99,054	117,065	124,692	125,051
第2号基本金	18,175	18,212	6,885	4,200	4,400
第3号基本金	403	403	403	403	403
第4号基本金	3,524	3,524	3,524	3,524	3,524
繰越収支差額	△ 26,567	△ 28,180	△ 31,896	△ 43,262	△ 48,281
純資産の部合計	89,903	93,014	95,981	89,557	85,096

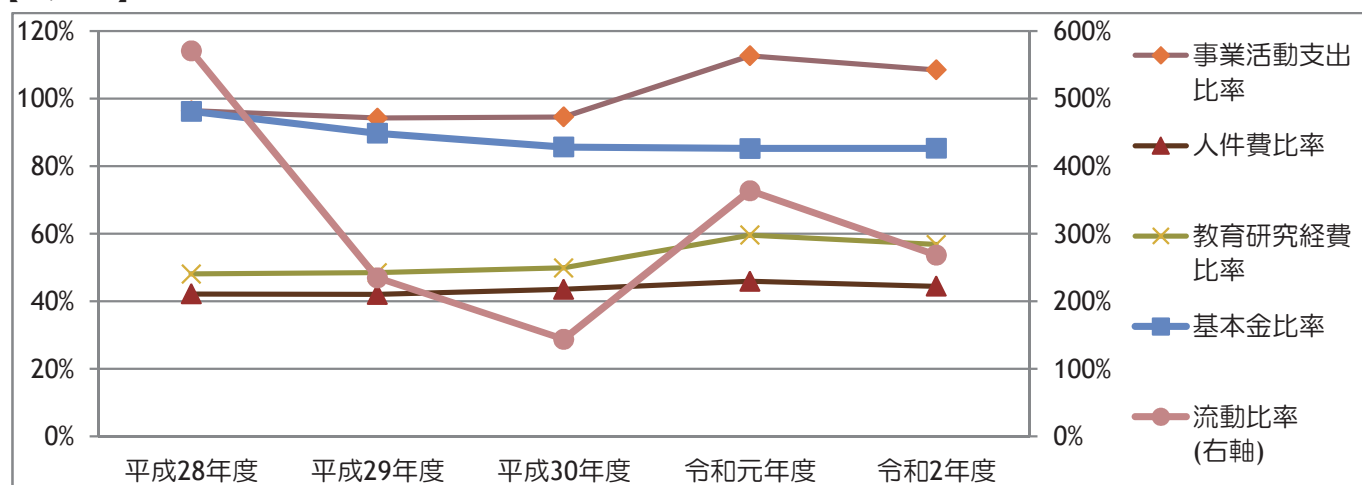
④負債及び純資産の部合計推移

(単位:百万円)

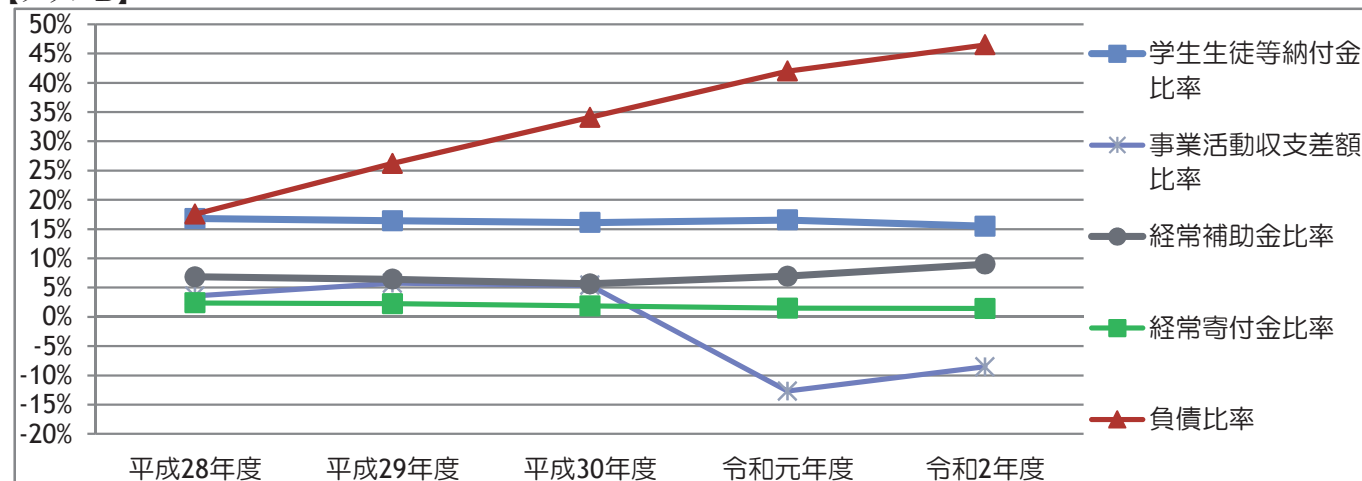
科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
負債及び純資産の部合計	105,675	117,390	128,705	127,158	124,646

(5) 主要財務比率の推移

【グラフA】



【グラフB】



※経常収入＝教育活動収入＋教育活動外収入

	主要財務比率	計算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
グラフA	1 事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	96.4%	94.2%	94.6%	112.7%	108.5%
	2 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	42.2%	42.0%	43.5%	45.9%	44.4%
	3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	48.1%	48.5%	49.9%	59.6%	56.8%
	4 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	96.2%	89.7%	85.7%	85.2%	85.3%
	5 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	571.0%	234.7%	143.7%	363.7%	268.4%
グラフB	6 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	16.8%	16.4%	16.1%	16.6%	15.5%
	7 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.6%	5.8%	5.4%	△12.7%	△8.5%
	8 経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	6.8%	6.4%	5.6%	6.9%	9.0%
	9 経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	2.4%	2.2%	1.9%	1.5%	1.4%
	10 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	17.5%	26.2%	34.1%	42.0%	46.5%

11. 学校法人会計の特徴について

1、学校法人会計の特徴と企業会計との違い

学校法人は、永続的な教育研究活動の維持向上を主目的とした非営利組織であり、国や地方公共団体より補助を受けている公共性の高い組織でもあります。そのため、昭和46年に制定された「学校法人会計基準」に則り、営利の追求を目的とする企業会計とは異なる独自の会計処理が義務付けられています。

	学 校 法 人	企 業
組織の目的	永続的な教育研究活動の維持向上 (非営利組織)	利益の獲得、出資者への還元 (営利組織)
会計処理	学校法人会計基準	企業会計原則

2、学校法人会計における作成書類

学校法人会計基準では、基本的な会計処理のルールについては複式簿記の原則や企業会計原則を踏襲しておりますが、財務書類については学校法人会計独自の書類作成が必要となります。

①事業活動収支計算書（企業会計：損益計算書）

当該会計年度の収入と支出の内容と均衡状態を明確にし、学校法人の経営状態を表す財務書類です。

企業会計における損益計算書に相当しますが、企業の経営成績を示すために当該会計年度の収益と費用を計算し損益管理を行うことを目的とする損益計算書に対し、事業活動収支計算書では、利益追求を目的としない学校法人の諸活動を損益ではなく収支として表示し、基本金(※)への組入額を加味した収支の差額によって経営状態を表すことを目的としています。

なお、資金収支計算書で計上されない現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されますが、負債となる借入金や前受金(翌年度に計上すべき収入の入金分)、固定資産取得に係る支出等については計上されません。

※基本金

学校法人が諸活動を行うにあたっての必要な資産を継続的に維持するために組み入れた金額です。

企業会計における資本金に類似していますが、出資者の出資額を表す資本金に対し、基本金は、学校法人設立時に受け入れた寄付金や設立後の事業活動で獲得した自己資金により、基本金組入対象の資産を取得する金額を表します。

事業活動収支の基本金組入前当年度収支差額は、当年度の収支状況を示しますが、基本金組入対象資産は当年度に獲得した自己資金だけで取得するものではなく、学校法人が将来のために準備した積立金なども取得の原資となります。

そのため、基本金組入後の当年度収支差額によって示された経営状態は、資金収支計算書および貸借対照表とあわせて評価する必要があります。

②資金収支計算書（企業会計：キャッシュフロー計算書）

全ての収入及び支出の内容と資金の流れを明らかにする財務書類です。

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に相当しますが、資金の獲得能力や支払能力の分析を目的とするキャッシュフロー計算書に対し、資金収支計算書では、当該会計年度の諸活動における全ての収支の内容及び支払資金の顛末を明らかにすることを目的としています。

なお、現預金が増減する諸活動全てが収支として計上されますが、現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されません。

③貸借対照表（企業会計：貸借対照表）

当該年度末時点での学校法人の資産、負債、純資産（資産－負債）の額によって財政状況を明らかにするための財務書類です。

事業活動収支計算書及び資金収支計算書は単年度の収支状況を表していますが、貸借対照表は今までの財政活動における累計額を表します。

なお、企業会計における貸借対照表とほぼ同様の様式となっていますが、企業会計では資本金を表示する部分について、学校法人会計では基本金を表示するといった違いがあります。

	学 校 法 人	企 業
財務書類	事業活動収支計算書	損益計算書
	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	貸借対照表	貸借対照表

①事業活動収支計算書の科目説明

教育活動収支		
事業活動収入の部		
学 生 生 徒 等 納 付 金	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの	
手 数 料	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等	
寄 付 金	金銭その他資産を寄贈者から贈与されたもので補助金とならないもの	
経 常 費 等 補 助 金	国または地方公共団体からの補助金	
国 庫 補 助 金	国から交付される補助金	
地 方 公 共 団 体 補 助 金	地方公共団体から交付される補助金	
付 随 事 業 収 入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入	
医 療 収 入	医療に関わる収入	
雑 収 入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等	
教 育 活 動 収 入 計	教育活動収入科目の合計額	
事業活動支出の部		
人 件 費	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金、退職給与引当金への繰入額等	
教 育 研 究 経 費	教育研究のために支出する経費	
医 療 経 費	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費	
一 般 教 育 研 究 経 費	医療経費以外の教育研究経費	
管 理 経 費	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出	
徴 収 不 能 額	債権について徴収不能となった額	
教 育 活 動 支 出 計	教育活動支出科目の合計額	
教育活動外収支		
事業活動収入の部		
受 取 利 息 ・ 配 当 金	預金利息および株式の配当金	
教 育 活 動 外 収 入 計	教育活動外収入科目の合計額	
事業活動支出の部		
借 入 金 等 利 息	借入金の支払利息	
教 育 活 動 外 支 出 計	教育活動外支出科目の合計額	
経 常 収 支 差 額	法人の経常的な活動である、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額	
特別収支		
事業活動収入の部		
資 産 売 却 差 額	資産の売却で、代価が帳簿残高を超えたときの超過額	
そ の 他 の 特 別 収 入	施設設備の取得に係る寄付金・補助金等の収入、過年度決算の誤りによる収入等	
特 別 収 入 計	特別収入科目の合計額	
事業活動支出の部		
資 産 処 分 差 額	資産の売却で代価が帳簿価格を下回った時の差額	
そ の 他 の 特 別 支 出	過年度決算の誤りによる支出等	
特 別 支 出 計	特別支出科目の合計額	
基本金組入前当年度収支差額	当該年度の事業活動収入から事業活動支出を引いた収支差額	
基 本 金 組 入 額 合 計	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、収入のうちから組入れる額	
当 年 度 収 支 差 額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引した合計額	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	前年度まで繰り越された、当年度収支差額の累計額	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額を足した、翌年度に繰り越される収支差額	

②資金収支計算書の科目説明

収入の部	
科 目	摘 要
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手 数 料 収 入	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄 付 金 収 入	金銭を寄贈者から贈与されたもので補助金とらないもの
補 助 金 収 入	国または地方公共団体からの補助金
国 庫 補 助 金 収 入	国から交付される補助金
地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入	地方公共団体から交付される補助金
資 産 売 却 収 入	資産の売却収入
付 随 事 業 収 入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医 療 収 入	医療に関わる収入
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	預金利息および株式の配当金
雑 収 入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
借 入 金 等 収 入	借入金等の収入
前 受 金 収 入	翌年度入学の学生等に係る学納金収入等
そ の 他 の 収 入	上記の各収入以外の収入
資 金 収 入 調 整 勘 定	当会計年度の諸活動に対する収入で前会計年度以前に支払資金収入になったもの、 当会計年度の諸活動に対する収入で翌会計年度以降に支払資金を受入れるもの
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	期首の現預金残高
収 入 の 部 合 計	各収入科目の合計額
支出の部	
科 目	摘 要
人 件 費 支 出	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金等
教 育 研 究 経 費 支 出	教育研究のために支出する経費
医 療 経 費 支 出	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一 般 教 育 研 究 経 費 支 出	医療経費以外の教育研究経費
管 理 経 費 支 出	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
借 入 金 等 利 息 支 出	借入金等の支払利息
借 入 金 等 返 済 支 出	借入金等の返済支出
施 設 関 係 支 出	土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出
設 備 関 係 支 出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書等の支出
資 産 運 用 支 出	有価証券の取得、引当特定資産の繰入支出等
そ の 他 の 支 出	上記の各支出以外の支出
資 金 支 出 調 整 勘 定	当該会計年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前に資金を支払ったもの、 当会計年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後に資金が支払うもの
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	期末の現預金残高
支 出 の 部 合 計	各支出科目の合計額

③貸借対照表の科目説明

資産の部	
科 目	摘 要
固 定 資 産	有形固定資産、特定資産及びその他の固定資産
有 形 固 定 資 産	土地、建物、構築物、機器備品等の形が有る資産
土 地	校舎敷地、運動場等
建 物	校舎、体育館、建物に附属する電気設備、空調設備等
その他の有形固定資産	土地、建物以外の有形固定資産
特 定 資 産	施設の拡充等に係る預金等の用途を特定する資産
その他の固定資産	有価証券やソフトウェア、敷金等の形が無い資産
流 動 資 産	資産のうち、1年以内に現金化、費用化できるもの
現 金 預 金	現金及びいつでも引き出すことができる預貯金
その他の流動資産	現金預金以外の流動資産
資 産 の 部 合 計	固定資産と流動資産の合計額
負債の部	
科 目	摘 要
固 定 負 債	長期借入金、長期未払金等の支払期限が1年を超える負債
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金
その他の固定負債	長期借入金以外の固定負債
流 動 負 債	短期借入金、未払金等の支払期限が1年以内である負債
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内である借入金
その他の流動負債	短期借入金以外の流動負債
負 債 の 部 合 計	固定負債と流動負債の合計額
純資産の部	
科 目	摘 要
基 本 金	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして組み入れた金額
第 1 号 基 本 金	固定資産に対応する基本金
第 2 号 基 本 金	施設の拡充に対応する基本金
第 3 号 基 本 金	奨学資金に対応する基本金
第 4 号 基 本 金	恒常的な支払資金に対応する基本金
繰 越 収 支 差 額	繰り越される収支差額
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	翌年度に繰り越される収支差額
純 資 産 の 部 計	基本金と繰越収支差額の合計額
科 目	摘 要
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	負債の部と純資産の部の合計額



岩手医科大学

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

Tel 019-651-5111（代表）

www.iwate-med.ac.jp

発行 令和3年5月24日 岩手医科大学 法人事務部企画調整課